新京日日新聞
夕刊
四月二日
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越丙之介

蘭花薫る國の元首御發輦の朝

皇禮砲鳴響く國都を後に　友邦日本へ御進發

鵬程三千キロ兩國皇室御交驩

全市嚴肅の氣に滿つ

日滿親善史上に至高の榮光輝き日滿兩友邦不可分の關係を愈々益々緊密ならしむべき滿洲國皇帝の日本皇室御訪問の日は遂に來たのだ

○

善隣日本は昨年來朝野をあげて新興帝國の元首、康德皇帝を迎へ奉らんと御歡迎準備萬端を整へてゐたが、その御待ちわび申上げる皇帝陛下國都御出發の日が來たのだ

○

この日國都新京は御奉送に裝ひを凝らし陽春四月の陽光に映え、嚴肅の氣は日滿兩國旗を戸毎に掲げた街々にしんと行きわだりこの歷史的御盛儀を御見送り申し上げんとし宮廷より驛に至る鹵簿通過御順路たる興運路、長通路、朝日通大同大街、中央通りは殊の外麗しく淸掃され、午前六時には早くも新發路大同大街、中央通りの奉送路には滿洲國禁衛步兵第十旅、騎兵第一旅が、驛前には滿洲國儀仗隊が整列し、又早朝から參集した社會事業團日滿各學校生徒が五色旗を手にして堵列し、今や鹵簿御通過を御待ち申上げるのみで奉送準備はこゝに全く整つた

○

畏くも皇帝陛下には早驍御起床、最高勳章佩用の陸軍禮式通常禮装を召されて、午前六時卅五分工藤侍衛官長陪乘申上げ、張侍從武官長、寶尚書府大臣、沈宮內府大臣等扈從し宮廷御出門、自動車鹵簿にて發御遊ばされた、斯くして皇帝御坐乘の赤塗のリンカーン號は滑るが如く音もなく坦々たる御順路を御進發遊ばされた、鹵簿の先頭、前驅の後にに奉持された蘭花燦たる皇帝旗は薫風にはためき沿道の奉送者は思はず頭を深くたれ聲一つなく寂たる數分が續いた

○

一方新京驛構內には禮裝に威儀を正した日本側高官、西尾板垣關東軍正副參謀長、三毛中將、長岡關東局總長、岩佐關東軍憲兵司令官を始め高等官以上の文武百官並に滿洲國側より鄭國務總理、各部大臣參議府各參議以下特任、簡任薦任の官吏が早くより所定の場所に整列し今や遲しと皇帝の御到着を御待ち申上げてゐる內、前驅に續く自動車鹵簿は靜々と驛前に滑り込んだ、「驛御到着」の合圖と共に俄かにおこる滿洲國軍樂隊の國歌吹奏はしゞまを破つて劉喨とプラットホームに鳴り響くこの瞬間嚴肅と感激の空氣が肅然と場を打つ驛玄關に着御遊ばされた皇帝陛下を白井新京鐵道事務所長御先導申上げるや奉迎諸員の最敬禮裡に玉歩を運ばせられ御召車に御乘車遊ばされた

○

斯くて午前六時五十分、御召列車は滿洲國砲兵隊の殷々たる百一發の皇禮砲を受けさせられつゝ一路大連へ向け御進發遊ばされた

なほ關東軍板垣參謀副長、河邊中佐岩佐憲兵隊司令官、三毛中將、馬場憲兵隊長、長岡關東局總長、竹下關東州廳長官は大連埠頭まで奉送申し上げるため御召列車に陪乘一路南下した

行還幸時刻　一日仰出さる

【東京國通】天皇陛下には來る六日滿洲國皇帝陛下御出迎へのため東京驛をはじめ赤坂離宮、觀兵式に行幸遊ばされるが、右行幸發着時刻を一日左の如く仰せ出された

△四月六日東京驛行幸　午前十一時十分御出門、同四十七分御還幸

△同日赤坂離宮行幸　午後三時卅分御出門、同三時五十分御還幸

△四月九日觀兵式行幸　午前九時廿分御出門、十一時五十分御還幸

△四月十四日赤坂離宮行幸　午後二時卅分御出門、同二時五十分御還幸

浮雲東天に遊んで　勤民樓上に瑞祥

◇……御訪日を奉送の朝

萬代不易の日滿國交史上更に金鋲を打たせ給ふ滿洲國皇帝御訪日の朝滿洲には珍らしい浮雲が東天に遊んで陽光紅に輝き遙かに拜する勤民樓の屋根には薄紫の春氣が籠つてゐる、春曉にしては稍々寒氣烈しけれど清爽の氣充ち滿ちて身のしまるを覺え絶好の御發日和だ驛から中央通、大同大街、朝日通に堵列の日滿官民軍隊、學生等の奉送者二萬餘が何ともしれぬ感激に双頰を紅潮させ乍ら鹵簿を今か今かとお待ち申上げる、通行止の午前六時廿分迄には奉送者の自動車がひつきりなしに驛に向つて疾る、驛構內に入ると日滿文武百官揃ひの禮裝がズラリと居並び滿洲國軍樂隊が幾回も幾回も繰返へして國歌を吹奏すれば驛構內は只奉送氣分一色に塗りつぶされて感激の坩ツボにとけ込で行つた

午前十一時廿四分　無事奉天御通過

【奉天國通】日本國民擧つてその御來訪を御待ち申上げてゐる、滿洲國皇帝陛下には愈々けふ國都新京を御出發

輝く

御訪日の御途次沈宮內府大臣、遠藤總務廳長以下供奉者一同及び新京まで御出迎へ申上げた三毛司令官等を隨へさせられ、陽光輝く二日午前十一時十八分御召列車にて御無事奉天驛に御着、六分御停車の後同廿四分御發大連御經由一路日本に向はせられた、これより先掃き清められた奉天驛構內には日本側蜂谷總領事、關屋地方事務所長をはじめ在奉各機關軍人將校同相等官以上在鄉軍人代表、滿洲國側保奉天省長于第一軍管區司令官閻市長を始め各廳長駐奉滿洲國軍隊以上其他日滿各學校學生、各團體代表等何れも禮裝に威儀を正し今やおそしと陛下の御着を御待ち申上げ驛頭には日滿親善の歷史的嚴肅な空氣が漲る、定刻午前十一時十八分滿洲國軍樂隊の國歌吹奏裡に御召列車が第一ホームにぴたりと停止するや最後部展望車に立たせられた皇帝陛下には大元帥の御正裝も御凛々しく居並ぶ諸員に對し擧手の禮を賜ひ、車內に伺候した保奉天省長、于第一軍管區司令官、並に蜂谷總領事に拜謁を賜ふた

○

この時鐵西に於ては、滿洲國軍隊に依つて百一發の皇禮砲が射たれその砲聲は殷々として

澄み

きつた大空に轟き渡り陛下の御訪日を御慶び申上げる、やがて十一時廿四分諸員の最敬禮國歌吹奏裡に奉天驛御發御機嫌麗しく一路御訪日の途につかせられた

寫眞說明　上段右から御乘車の皇帝陛下、鹵簿　下は御奉送の日滿顯官と國防婦人會員

大任を果し　廣石署長一息

滿洲國皇帝陛下御訪日の二日附屬地警備の重任に當れる新京署長廣石郁磨氏は午前三時起床人知れず新京神社に至り警備萬全の祈願をこめ皇帝御發輦後署員を神社に集め無事大任完全の報告をなし一場の挨拶をなし解散したが大任を果しほつとした署長は語る

赴任最初の大任であるから身命を賭してもとの覺悟で一生懸命にやつた、幸にして無事任務を果し得たことは一重に署員諸君の努力の賜で感謝に堪へない

先行の加藤秘書官等着京

【東京國通】盟邦滿洲國皇帝陛下には愈々二日新京を御出發あらせられるが、それに先立つて一日午後三時廿五分滿洲國宮內府秘書官加藤內藏助氏一行五名が隨員の先發隊として特急富士號で入京し、直ちに帝國ホテルに入つた、一行は加藤氏のほか國務院總務廳需要處長宮內府囑託小泉三郎氏、張岸名氏兩禮官と繙譯

皇帝を送り奉る

渡邊　巖

滿洲帝國皇帝陛下
櫻さく、日本へ
軍艦比叡、二九、五〇〇トン
大連にあり、待ち迎へ奉る
黃海、航海
やがて日本に着御あらせなば
ニッポン國民、擧つて叫ばん
萬歲、萬歲、萬歲
海は遙けし、されども
近し、心と心
相よるたましい
結ぶ日本—滿洲
日ぞ出づる極東
かがやかしき二大帝國の
君主茲に會見あらせらる
思ふだに胸、感激に滿つ
康德二年四月二日
君ぞ今たちます
我等兩國民、願ふはこれ
一路平安、萬歲

運轉休止及び開始の國營自動車線

交通部では自動車運輸事業國營路線中左の五線を當分休止する旨發表した

扶　餘……洮南間
新　京……扶餘間
洮　南……將軍廟間
訥　河……嫩江間

以上三月二十四日以後休止

ハルビン……同江間三月十と四日以後休止

尙三月二十日より左の二線を運轉開始した

洮　南……將軍廟間（七十キロ）休止せる路線と別の路線を通ず

索　倫……索倫站三（キロ）

その日く

□

鵬程三千キロ、滿洲國皇帝御訪日の途につかせらる、御道筋の無事を祈り奉る

□

美濃部博士の天皇機關說問題いつまでも晒しておくことは考へもの

□

滿鐵各中等學校授業料値上げ諸物價の値上げに順應したわけか知らぬが……？

□

陽氣が手傳つてか軍人と稱しビールを恐喝する男あり

□

何ぞその新京驛頭ラウドスピーカーに躍らせられる男と變るところあらん

人事往來

▲長島量一氏（哈市中銀支店員）一日午後來京國都ホテル投宿
▲山口淸治氏（哈市醫師）同
▲宮下靜一郎氏（林業）同
▲關鴻翼氏（哈爾濱公報社長）同
▲小原武雄氏（大倉土木）同
▲存春氏（宮內府官吏）同
▲山本玉城氏（奉天、大倉恒吉商店員）一日午後來京名古屋ホテル投宿
▲本鄉信雄氏（吉林公署員）同
▲前薗彌八氏（滿鐵）同
▲猪子一到氏（同）同
▲三毛一夫氏（陸軍中將）同
▲石崎由之氏（同副官）同
▲木下富士太氏（滿鐵）同
▲武田胤雄氏（新京地方事務所長）二日午前發大連へ
▲沼田勇氏（辯護士）同奉天へ
▲重本曉氏（チチハルホテル支配人）二日午前來京ヤマトホテル投宿
▲池田哲哉氏（奉天會社員）二日午前發奉天へ
▲伊東豐治氏（鐵路總局）一日午後來京ヤマトホテル投宿
▲濱田正直氏（安東稅關吏）同
▲水島俊一郎氏（東京會社員）同
▲酒井溫氏（神戸會社員）同
▲山崎貞雄氏（遼陽會社員）同
▲時任泰氏（滿鐵）同

團體

▲宮崎中學生五十名二日午前六時四十分來京同日午後十時發南行
▲松江商業學生三十四名二日午後二時來京旭ホテル投宿三日午後四時發南行
▲龍山師團將校二十七名二日午後十時三十分來京三日午後八時發南行
▲滋賀師範學生二十五名七日午前六時四十分來京同日午後一時五十分發南行豫定
▲ハルビン特別區立師範學生五十名七日午後三時來京同四時發南行豫定

ソ聯鐵道の運賃割引

駐日ソ聯通商代表部では去る三月二十八日、日本、滿洲國よりソ聯邦に入國する旅客のためソ聯鐵道運賃、急行券及び寢台券を左の如く割引する旨發表した

△三割引（旅行日程七日—十日間）
△四割引（旅行日程十一日—二十日間）
△五割引（旅行日程三週間以上）右割引にはソ聯國境より旅行地都市まで千キロ以上たるを要する

官一名で皇帝の御土產用の記念品滿洲色の濃い精緻なボンボニエル五箱を捧持して來てゐる、これで帝都の御歡迎空氣もいよいよ本格的のものとなつて來た

國民政府外交部辭令

【南京卅一日發國通】國民政府外交部は左の如く外交部辭令を發表した

任亞洲司長　高宗武
任ニユーヨーク總領事　于俊吉
任サンフランシスコ總領事　黃朝琴

見よ劈頭を飾る本春スポーツ界
蹴球・庭球・野球に盛澤山なプロ
野球は十日練習開始

春の訪れとゝもにスポーツの活躍、新京体育聯盟並に大滿洲帝國体育聯盟の各部役員の手元で目下着々試合日豫定にとりかゝつてゐる、二日新京体育聯盟に硬式野球、硬式庭球蹴球の三部から左の如き豫定表を届け出た

蹴球部（春期）

▲四月二十一日午後二時對中央銀行（中銀グラウンド）
▲同月二十九日午後二時新京日滿對抗（西公園）
▲五月五日午後二時對滿洲國（中銀グラウンド）
▲同月十二日對電業（商業グラウンド）
▲同月十九日對商業（商業グラウンド）

硬式庭球部

▲四月コート開き
▲五月部內トウナメント
▲六月日滿對抗
▲同月州內外對抗
▲七月全新京選手權大會
▲同日全滿洲選手權大會（日本側）
▲八月奉天へ遠征
▲同月外來チーム招聘
▲同月全滿選手權大會（滿洲側）
▲九月日滿對抗
▲同月納會

硬式野球部

▲四月十日練習開始
▲同月二十日日滿聯合紅白試合（シーズン開）
▲同月二十四日から一週間、滿體育聯盟主催、本社後援の新京野球大會
▲五月中旬大連實業同滿倶招聘
▲同月下旬大連へ遠征、奉天撫順と對戰
▲六月上旬日滿對抗（本社後援）
▲同月中旬全滿野球大會（舊州外）撫順で開催
▲同月下旬から八月に亘り內地朝鮮軍を迎へ對戰
一、六大學リーグ中明大、慶應
一、五大學リーグ中優勝校
一、高專リーグ中優勝校
一、關大リーグ中優勝校
以上の外實業團二、三チーム
▲九月中旬滿洲國野球協會主催建國野球大會
一、朝鮮龍山鐵道倶樂部招聘
▲同月下旬大連で開催全滿野球大會出場

神武天皇祭 遙拜式

四月三日午前十時一同參列、祓式、遙拜の詞奏上、玉串奉奠一同一拜、退場

フデ子は何處 實兄から搜查願
戀の男の後を追ふたか？

市內永樂町三丁目二十一番地京都旅館に先月中旬から投宿中であつた原籍別府市藥品行商森山虎男（三一）は同旅館女中東三馬路市營住宅百二十四號藤板一男氏妹フデ子（二〇）に戀を覺えフデ子に結婚を申込んだがフデ子が承諾してくれぬので面あてにアダリンを嚥下し自殺をはかつたが死に切れず四、五日養生の上さる三十一日內地へ歸省したところが相手のフデ子は四日前家出したまゝいまだに歸らず音信もなく、二日午前實兄一男氏から新京驛詰警官まで搜查願を屆出でた

驛を血みどろでさまよふ男
調べて見れば狂つてゐた

二日午前十一時二十分ごろ新京驛三等待合室に顔面、後頭部、衣類が血みどろになつてゐる滿人が徘徊してゐるのを驛詰巡捕が發見、詰所に同行取調べると原籍河北省灤縣直子鎮住所不定楊玉田（三三）とてこのころの陽氣のせいか狂ひ出し同驛案內のラウドスピーカーの聲は何者かが自分を告訴して呼び出してゐるのだといふ、四月一日から入場券制度の立看板は自分を告訴した貼紙のやうにみえ監獄にいきたくないとて自分で待合所入口のコンクリート角に頭を二、三回ぶつつけ流れ出る血をみて喜んでゐる精神病者と判明、直ちに同仁醫院で手當を施した

皇帝御訪日記念切手 羽が生えて飛ぶやう
賣出期間は二十六日まで

新京郵便局では二日午前八時より滿洲國皇帝陛下御訪日記念切手を賣り出したが種類は一錢五厘一萬六千、三錢一萬六千、六錢一千七百、十錢一千七百の四種で當日はこの記念切手を購ふ客が早くから窓口に押しかけ大混雜を呈したが六錢、十錢の二種は正午までに殆んで賣り切れといふ盛況である、因にこの記念切手の賣出期間は二十六日までであるが希望者は早く求めないと賣切れとなる

獻上の鎧 緋縅飾り大鎧一領 飾り太刀一振（本派本願寺から）

暹羅舞踊劇 五月、八九日 記念公會堂で

寂寞の滿洲劇壇にこれはまた意外、國際親善の波に乘つて情熱の乙女、南國の美女四十餘名のシャム舞踊劇團の一行が陽氣の滿洲へ訪れるといふ—これは外務省の後援で、日シャ兩國親善の藝術使節として招聘したもので、一行は四月上旬入京、東京を振り出しに全國主要都市を巡演し、情熱に燃える肢体から日シャ親善のウインクを振り撒いて五月上旬渡滿、大連の五、六兩日を最初に、新京では八、九の兩日記念公會堂で滿シャ親善の妙技を振ふはずである

山口正太氏 百圓寄附

錦町三丁目七番地山口正太氏は新京体育聯盟へ三十圓、修養團に三十圓、貧民救濟に四十圓、計百圓を寄附、二日その手續を執つた

各中等學校一齊に授業料の値上げ
但し新入學生のみ

四月一日から各中等學校の授業料が値上げされた、中學、女學校が現在の月額二圓五十錢から三圓五十錢に、また新京商業學校が同三圓に、但しこれは本年の新入生からで新二年生以上は從來のまゝといふことになつてゐるが、理由は關東廳の各中等學校がさきに同樣の値上げをしたので滿鐵側でもこれに見倣つたもので、內地は大抵三圓乃至四圓程度から決して高くはないはずだといはれてゐるが、新入生のみに止めたのは二年生以上は既にその條件の下に入學したもので途中値上げは不都合だといふので思ひ止まつたもので新入生に對しては入學前豫めその旨を通告し諒解したことになつてゐる、また地方事務所でも高等小學校兒童の授業料徵收を考慮中だつたこと既報の通りだがこの分はなほ尚早の嫌ひあり思ひ止まることになつた

帝國の軍人と稱しビールを恐喝呑む
潛伏中を新京署で捕ふ

本籍愛媛縣宇摩郡上分町七百十六番地現住所不定無職石川勳（三十）は三月二十六日午後四時半頃市內吉野町二丁目十六番地北滿旅館岩吉末松方に客を裝ひて來り同旅館女中田中タマエに案內させて二階四號室に上り込み女中が「お泊りですか」と尋ねると「泊るもくそもないビールを持つて來い」とビールを命じ女中がビール二本とつき出しを持つて行つたが恐ろしくなつて下へ降り、變つて女中の島田つや子が上つて行くと刄渡り一尺五六寸の日本刀を引拔いて「俺は日本帝國の軍人だが今はゴロつきだぐずぐず言ふと叩き切つてしまふぞ」と脅し更にビール一本を飲み玄關にて女將にさんざん凄文句を並べ「今後も度々ビールを飲みにやつてくるからそう思へ」といつて立去つたが一日午後九時三十分頃城內四馬路公益旅舍に潛伏中を新京署中谷刑事が探知有無を言はさず逮捕し本署に連行嚴重取調べると此の男は豫備役步兵軍曹と稱し軍隊なるが如く裝ひ常に日本刀を所持し市內活動常設館飲食店等を荒し廻り豫て新京署にて搜查中のものと判明中谷刑事より恐喝罪として告發し余罪嚴重取調べ中である

匪團の根據を究め大擧逮捕に向ふ
十六人組强盜團の背後にある

既報—四道街署員の必死的大活動の結果南關附近を初め市內各所を荒した一味十六名組拳銃强盜團を一網打盡に檢擧し本署に引致首都警察廳司法科員の應援を得銳意取調中のところ意外にも十六名組の背後に强力な匪賊團が新京を離れる百二十支里の地點伊通縣伊巴丹に根城を構へてゐるを首魁韓通科が自供したので同署では司法科と協議の結果古賀巡官指揮の下に司法科員十四名、四道街署員十二名計二十六名は匪賊團討伐のため機關銃、長銃、拳銃を所持し二日午前九時トラック二台に分乘し現地に急行した

激增した傳染病 三月中四十名

新京署管內三月中の傳染病流行の傾向を見ると赤痢が三、チフス一、猩紅熱三十一、ヂフテリヤ四、流行性腦脊髓膜炎一合計四十で全治したものは一名あと三十九名が入院中である、これを前年の二十三名に比べると著しい增加である、[illegible]傳染病の中最も多いのは猩紅熱とヂフテリヤで曾て例を見ない增加率を示してゐるので各子供を持つ家庭では充分の注意と豫防が必要である、尚本年一月以降三月末まで傳染病患者の延人員は赤痢五、チフス二、猩江熱四十九、ヂフテリヤ二十四、流行性腦脊髓膜炎三合計八十三で前年の六十五に比べて十八名の增加である

露店第一日 案外の淋しさ
電氣の暗いのが不評

一日夜から開かれた日本橋通りの露店、三笠町の交叉點から南廣場まで、まだ第一夜だつたので點々二、三十個所に履物、玩具、荒物、植木、果物和洋雜貨の店が出てゐた、日本橋通りは輸入組合加盟店が軒をならべてゐて恰も一日の定休日なので何れも灯を消してゐて街一帶が暗かつたのと一つは夕刻から少し寒かつたので人足もまばらであつたが、二日は氣溫もグッと上昇したし、街の灯も點るから、これからだんだん日を逐ふて賑かになつて行くことであらう一般露店ひやかし客は電氣が暗いため步く氣も買ふ氣もしないといつた風である

倉知鐵吉氏等 近く來京

日露協會幹事貴族院議員倉知鐵吉氏は關根同協會主事を帶同し、今般勇退に決定せる高田哈爾濱學院長の後任三澤新院長紹介旁々商品陳列館訪問をかね、三十日東京を出發釜山を經て淸津、羅津を視察し京圖線にて新京に出で、來る六日頃ハルビン着の豫定である、なほ齊々哈爾、北安地方をも視察する筈である

春野百合子 大和之丞 あす公會堂へ

記念公會堂で三日から開演する浪曲の女雄春野百合子一黨は奈良丸改め吉田大和之亟の特別出演で俄然湧くが如き人氣を呼び殊に百合子の出身地の福岡縣人會が肩入れして應援することとなり前景氣盛んなものがある、入場料は一圓五十錢のところ前賣券又は割引券を利用されると一圓二十

街の日記

新京工學院 五日入學式

さる二十五日第一回卒業證書授與式を擧行した新京工學院ではその後昭和十年度入學志願者の申込み殺到し百四十名採用に對し一日までの入學受附數が既に百六十名を突破の盛況で係員は整理に多忙を極めてゐる、本年度入學試驗は來る五日午後六時から同學院內で施行、試驗科目は▲豫科算術、作文、▲本科算術、代數英語、作文、受驗者は受驗證、鉛筆、小刀を携行午後五時半迄に登校指揮をまつこと なほ受驗希望者は四日午後七時までに出頭、正規の手續を經て受驗證を受領すること

ブラス、バンド 會員募集

四月から新設された滿鐵新京ブラスバンド樂手を新京在勤滿鐵社員の中から募集する、應募資格は移動性の少ない高等小學校卒業以上の學力を有するもので經驗の有無を問はず音樂に對して趣味を有する年齡二十才位から三十才位まで希望者は地方事務所社會係まで所屬氏名、年齡を記入の上申込まれたい、なほ練習は每週三回退社後約二時間づゝの豫定

大連新聞新京の支社長更迭

大連新聞新京支社長高橋勝藏氏は四月一日附で支社顧問となり旅順支社長小池幸三郎氏が新京支社長を命ぜられ二日兩氏同伴更迭挨拶に來社した

スタンド陳列會 新京電業局で

新京電業局日本橋通營業所では二日から八日まで一週間スタンド陳列會を催す、價格は學生スタンド八十錢から、均一スタンド一圓七十錢から、絹セード一圓五十錢から、ラジオ二十五圓から、電氣七輪二圓五十錢からその他いろいろ陳列されてゐる

新京醫院耳鼻科 佐藤氏着任

滿鐵新京醫院耳鼻科醫員として着任した佐藤亘氏は二日挨拶に來社した

けふの銀相場

國幣對金票 一〇六三〇〇圓
鈔票對金票 一三三九〇圓
國幣對鈔票 八一四八〇圓
現大洋對鈔票 一一〇四三〇圓

議である

入場券發賣 第一日收入 五百卅三圓

新京驛の入場券發賣初日の總賣揚高は五百三十三圓、內譯は一回券三千五百三十枚、回數券十册、定期券五十枚、同驛では一日賣揚三百圓見當のところ豫想以上の好成績にホクホク

オリムピック東京誘致から 副島伯歸る

【東京國通】第十二回國際オリムピック大會東京招致の爲めムッソリーニ首相と會見、同首相を說いて東京招致に確實性を與へるに至つた副島伯は一日朝神戶入港の靖國丸で歸朝したが語る

オリムピック招致折衝の爲めローマに着いてから二日目ムッソリーニ首相と會見の爲同邸に行つた際突然心臟に故障があつて卒倒してしまつたイタリー側では最初體育協會並にオリムピック委員共非常に强硬意見を持して居たがムッソリーニ首相は二月八日の會見に於て僅かに十五分で日本へ讓ることを承諾し四〇年は日本に讓るが四四年にはイタリーに讓歩して呉れと好意的態度を示して呉れた之はオーストリア代表シュミット氏並に駐日イタリー大使アウリッチ氏が其背後にあつて非常に援助を與へられた結果會見前ムッソリーニ首相は既に日本へ讓ることを決意したものである、今後我日本側としては眞面目に個人的に日本の立場を說いて折衝すれば容易に日本招致に決意するものと思はれる、ムッソリーニ首相は東京開催決定が遲延したに對し非常に不快に思つて居る程で、同首相の眞意に變更を見ることはないと思ふ

仙人掌

銀パレスの玲子は以前モダン銀座にゐた原駒子型の美人です、なじみも多いのでせう、今の所結婚申込者が六、七人あると言つてゐました、或晩二人連れの男が彼女をつかまへて際どいエロ哲學を辯じてゐましたが彼女おもむろにうなづいて曰く「あたしにもわかるわ！」▲同じ店の滿里子ちやんは奉天から來たまだ若い、これは堤眞砂子にもう少し肉をつけたやうな令女型のおとなしい人です、たしか年齡は十七と言つてゐたやうですいたづらでもしやうもしならすつかり憤慨してしまひます▲序いで乍ら、銀パレスの軒の中に、「藝妓酌婦周旋所」の看板が出てゐるのはどうかと思ふよ

天氣と氣溫

明日の天氣 南の風晴一時曇
日の出 午前五時十九分
日の入 午後六時七分
月の出 午前四時四十三分
月の入 午後六時三分
けふの氣溫 最高 十四度三 最低零下〇四度二

新撰爆笑隊

(續上映上演)

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇

四五　時雨の小判(七)

「一戒裡、それをシテやられたんぢやござんせんので……」

番頭は恐る〳〵興兵衛の顏色をよまうとした。

「ヘッ、そんなトンチキにみえるかい。」

「と、と、とんでもない……他人様のお金でも、六百兩ときいちやア胸の動悸が高ぶります。」

「さうだらう。お前の馴染の女郎なら、二十人もうけ出せるかざンせん。」

「エッヘッヘ、そんなぢやアございません。」

「チエ、もつと高いか?」

「いゝえ、十兩もやれば、眼アまでついてきます。」

「ほほほ、番頭さんもソウトウもんですね。……それで、どこへお納りなさいました?」

と彼女にきかれて、興兵衛は口を噤んでにやく〳〵したが、かういふ場合にも默つてをられないのが興吾の性分でもあらうか。

「そこは頭兄い心得たもんで……脹分の片ッ方には石塊を身代りにしといて、小判は時雨の容器につめやした。」

「あらまア……さうでしたか」

床のまにおいたまゝの包を横に睨んで、お菊は感慨無量である。

「それで以て、俺らが呪禁をしときやした——ひとがみたら蛤になれよッてね。あッはッは…」

「お荷物の中に大したものはございませんでした?」

「えゝ、旅の汚れ物ばかり詰めといたから、いつそ、さばく〳〵したやうなものでさ。」

「そいつは泥ックー——あけて吃驚ですナ。」

と番頭が笑へば、興兵衛も膝をなでゝヤニさがつた。

「うん、頓馬な野郎さ……いまに途中が入ってると思ふのは

吾兵衛の禅さん以來、こりてる番ぢやれえか。」

「まあ! なんてトンチキな胡麻の蠅とやらでせう。ほほほほ。」

笑事にモノした心算だつた道中師松風お菊も、事、是に至つては自分で自分を嘲笑するより他に手はあるまい。

「まつたく、其奴の面を、もう一遍、拝み直してやりてえや。」

「ははは、いま頃は……と、きやがらア……」

ドヂをふんだ彼女は、番平以下乾分連中の思惑も憚られ、靜止してゐられないほど慙愧の念にかられて、思はず外方をむいて默つた。

然し、彼女は除沖一餓何事か……の冒頭でネバリ強く、なほも彼等と離れずに、京都までも一所に行く腹積である。

顧れば、お江戸日本橋七つだち——品川から四日市までの東海道は、殆ど海のみえる道中であつたが、大神宮の大鳥居と常夜灯を左に、追分から本街道京へ上りは、山また山の旅路とて、口の達者な女に足はそれほどでもないご道中、滅法お疲れの態である。

「なんと、姐さん——今夜は亀山泊り、合點か。」

「いふにや及ぶ。大概が小縦で濡れた朧ひの四日市、ちと朝酒がきき申たる。」

「俺らもそれよ。まだ六里とは歩くめえに、このお荷物が邪魔にこたへる。」

「あはは、すまねえの。また明日もお前の厄介になるか。」

と悦はいりし次第は、例の大金を小判型の曲物につめて、時雨煮と一緒にした大包のもち番を、その朝から兩人が籤の勝負できめて、一日ぶらさげの役が興吾だつたからでもあらう。」

ラヂオ

三日(水曜)　新京

神武天皇祭

(午前之部)

六、〇〇　ラヂオ體操(滿語)

六、一五　ラヂオ體操(大連)

引續き　入港船の御知らせ(大連)

七、〇〇　ラヂオ體操(滿語)

七、一五　ラヂオ體操(大連)

七、三〇　朝の音樂(大連)

八、三〇　子供の時間(東京)

マンドリンとハーモニカ

一、マンドリン獨奏　高久肇

ギター伴奏　月村嘉孝

(イ)藥の中の七面鳥　ボンネル作曲

(ロ)「埴生の宿」變奏曲　高久肇編曲

二、ハーモニカ獨奏　松林和男

(イ)カール王行進曲　ウンラート作曲　宮田東峰編曲

(ロ)春の歌　メンデルスゾーン作曲　宮田東峰編曲

(ハ)「荒城の月」變奏曲　瀧廉太郎作曲　宮田東峰編曲

三、マンドリン合奏　タカク、マンドリン、アンサンブル　指揮　高久肇

(イ)スペイン舞曲　マチヨッキ作曲

(ロ)赤い翼　ミルス作曲　服部正編曲

九、四〇　講演(大阪)　春の風　海洋氣象臺技師　理學博士　堀口由巳

一〇、〇〇　子供の時間(滿語)(奉天より)　說話　日本的祭節中的神武天皇祭　淸眞學校長　鐵維恒

一〇、四〇　演戲　一、空城計　老生　金花　二、馬前潑水胡絃　王憲敏

一〇、五九　時報(東京)

一一、五〇　箏曲(大阪)　千鳥の曲　箏　江良千代子　尺八　豊安洞童

(午後之部)

〇、一〇　琵琶(東京)

一、舟辨慶　飯田胡春作詞　永田錦心作曲　輝錦凌

二、(名古屋より)　鳴呼忠臣湊川　福原會　下山人作詞　安部旭洲作曲　安部旭洲

三、(大阪より)　雪の曙荒牧輝鳳作詞作曲　楠旭祟

一、二五　浪花節(東京)　美女丸　春日亭淸吉

二、五〇　經濟市況(東京)

三、〇〇　ニュース(東京)

五、〇〇　子供の時間(大連)　童話春風の舞ひ　中溝新一

五、二五　氣象通報、番組豫告

六、〇〇　ニュース(東京)

六、二〇　ニュース

六、三〇　國民の時間(滿語)　第二回全國聯合協議會之感想　奉天縣縣長　宋鑑玉

六、五五　落語　大津の宿　一平

七、一五　淸元　花筐　淨瑠璃　千鳥千太　同　千鳥小稲　三味線　千鳥萬二　同　千鳥菊次

七、三〇　俚謠(東京)

一、鹿島踊(三番叟とサンコロリン)東京府西多摩郡小河內有志

二、山唄、麥打唄、臼ひき唄　東京府西多摩郡檜原村有志

三、佛の舞　和歌山縣伊都郡花園村有志

四、御田(種まき)

五、圓通寺ぶし(平井權八)　鳥取縣八頭郡國中村有志

六、幸若舞(和泉ヶ城)　福岡縣山門郡瀨髙町有志

七、西馬音內の盆踊　秋田縣雄勝郡西馬音內町有志　解說　小寺融吉

八、三〇　時報、ニュース(東京)

八、四五　ニュース、氣象通報　番組豫告(滿語)

九、〇〇　古樂　滿洲國國樂社

一、滑稽舞踏曲(絃樂)

二、祭　腔(同)

三、小鴻宴(同)

四、三不應(管樂)

五、八仙慶壽(同)

九、三〇　演藝(滿語)(大連)

九、四〇　講演(鮮語)　滿洲に於ける採金事業の特殊性　鑛業技師　申關休

一〇、〇〇　北滿の時間(露語)(哈爾濱)

一、講演　ロズザエフスキー　ロシヤ國粹主義者は如何なる國家の爲に戰ふや

一、詩の朗讀(ドゾロフの詩)ペートリン

三、ニュース

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番

水曜　四舊
巳酉　二月
先負　一日
破　廿八日
軫宿

●一白の人　活氣滿ちたる天運日にて開店事業始め皆吉　壬と癸と丑が吉

●二黑の人　午前は幸運なれども午後は手を詰るが無事　丙と丁と庚が吉

●三碧の人　小事には差支なきも大事は後日に廻すが吉　庚と辛と丑が吉

●四綠の人　忍ぶべきを忍ばざれば生涯の計を誤るべし　庚と辛と丑が吉

●五黃の人　進むに歩を亂さぬ樣に注意すれば吉日たり　甲と巽と庚が吉

●六白の人　心晴々となり活氣に滿つる幸運日たるべし　乙と丁と丑が吉

●七赤の人　內輪揉めを生じ又金錢にも故障を起し易し　丙と丁と丑が吉

●八白の人　順氣發展する大吉日婚約企業開店何れも吉　甲と乙と丙が吉

●九紫の人　凶運なれども勉め次第にて吉運に取付べし　未と庚と辛が吉

大連經濟觀照（下）

在大連　岡本理治

十九世紀に於て一八八〇年迄け先づ英國が世界經濟に於て制覇せし時代であつて、歐洲諸國が英國に伴れて世界に君臨せし時期である、此期間は歐洲は工業地にて示余の世界は其製品を購入するのを余儀なくされ後て唯々として其搾取に甘んぜし時代である、此時期に於て英國は夙に金單一本位を確立し、一七七〇年に至り獨乙が金單一本位を採用したる爲め、佛國の領導の下に貨幣同盟を作り、金銀複本位を維持し、佛蘭西經濟學者ノガロー先生の所謂西洋の金本位と東洋の銀本位の圓滿疏通を圖りし、ラテン貨幣同盟諸國も、銀の暴落に惱されて遂に跛本位となり、複本位の實質を脱し、金單一本位の實質に轉變するの止むなきに至り世界の優等國は擧げて金本位にて、劣等國は銀本位の觀を呈するに至つた、之と共に貨幣は金銀孰れかの金屬に膠着せざるを得ざるものとなつた殊に世界より搾取せる英國始め歐洲の富は無限の擴大性を有するが如く見へし故、金の需要は滔々其限際を知らざるが如くなつた、玆に於て、當初工藝用、或は珍奇物としての價値に過ぎざりし金は貨幣用としての特殊なる價値を追加することとなり、其價値の大部分を占むることとなつた此事は冷靜に考察すれば貨幣に不當なる價値を與へ物價を抑壓するものであつた、然し當時に於ては英國を始め歐洲の繁榮は蒸々天に冲する如くなりし故、貨幣の物價に對する不當なる抑壓を感知せずに過ぎた、是は資産家の馬鹿息子が遊里にて無駄なる散財をなし、取巻きに煽動されて有頂天となり、資産滅却の苦惱を感知し得ざると同樣である然るに、此時期を過ぎて停滯期に入り尙ほ舊來の迷夢を忘れ得ず苦惱の極歐洲大戰となり、資力を蕩盡すると共に、歐洲以外の諸國の經濟力は進歩し、歐洲をのみ工業地として、其搾取に甘ぜざるに及びては資本主義は衰退期に入り世界は全面に亘る大恐慌となり、玆に至り過去に於て貨幣の物價に對する不當なる壓迫が、明瞭に識知さるるに至りて、貨幣に關し世界は金建に膠着するの愚を覺悟せざるを得ざるに至つた、然し迷夢は容易に捨て難き徒輩多き故、キツキチヤギン六と唱ふる人士が金融界の牛耳を握れる奇現象も生じ居れるが、歴史の過程に啓明さるる眞理は、冥々の間に正善の方途に人間を導き往くを以て、今や世界の强國は大体紙幣本位國となり金屬說に膠着せる最後の諸國たる金ブロツク諸邦も今や金屬の物價に對する不當なる壓迫を排開する爲めに、冥々の間神妙なる知惠に導かれて貨幣本來の面目たる紙幣本位に歸趣するに至つた、支那禪宗の六祖大師慧能は、風の旛を吹動する見たる二僧が對論して、一僧は風動くと謂ひ、他僧は旛動くと唱へ、論議止まざるを眺めて、「風動くに非ず、旛動くに非ず心動くなり」と教へし如く、貨幣とは人間心理の主觀上に表現さるる觀念的一單位である、之を有形的に表明するを便利とする爲め、金屬或は紙片を用ひしも畢竟其用は人間心理に表象さるる價値の觀念的一單位の表現である、故に、此價値表現に有害なるに至らば金屬にても、紙片にても貨幣の表現としては排除さるるに至るは當然である、今や金や銀の如き金屬は貨幣の表現として用ひば徒に物價を抑壓して、人間生活に禍害を來すものである爲之、人間の潜在意識は冥々の間に之を排斥して、紙幣本位を建立して、自己の康福を企圖するのである、斯る意味に於て、滿洲にて過去に行はれし、過爐銀や奉天票等は意味深長なるものがある斯く觀じ來れば、金ブロツクの崩壞の如きは枯れたる古木が强風に吹倒るる如き感をしか我等に與へざるものと想ふ（了）

（昭和十、三、二九稿）

產業經濟調查に一大躍進を示す
產業調查局の調查內容

滿洲國の治安は面目を一新し產業經濟の建設は陽春を迎へて一大躍進期に入つたが各種建設計畫の基礎資料の蒐集整備、計畫立案の重要使命を有する產業調查局では專門技術者を動員し農、鑛、工、商方面二十一項目に亘る各般の調査を行ふこととなつたが農業立國の立場より農業方面に重點が置かれてゐるのは自然の數で、從つて最も多くの調查班が派遣され既に北滿の穀倉地帶、南滿の棉作地の農村實態調查の結果につき中間報告が行はれ、貴重なる資料を提供してゐるが、更に農產物生產量調查、農業上の土地利用及び水利調査、土性調查、主要農產物の取引狀況調查、畜產資源調查、緬羊飼育調查、漁業調查、森林資源調查等の各項につき踏查さるべく、其他產業部門別の主なる調查項目を見ると工業方面に於ては全國工場調查、水力電源調查、鑛業方面に於て鑛產資源調查、鑛業經營調查、主要鑛產物の需給取引狀況調查、商業方面に於て主要輸入品の取引狀況調查、商業慣習調查が計畫され其調查費用も康德二年度豫算に計上されてゐる

北鐵代償物資買付
技術員派遣

北鐵讓渡協定第九條の規定にある代價一億四千萬圓の三分の二に相當する價額の物資買付の衝に當つてゐる駐日ソ聯通商代表部では、部員の派遣方を本國政府に請求中の處來る四月二十六日までに先づ六名の部員を增派し來る旨通商部に入電があつたが尙ほ續いて派遣される筈で、前記六名の中には技術家も含まれてゐる、即ち從來專門家が少いため技術的事項はいちいち本國

中國毛織物輸入總額

【上海三十日發國通】總稅務司署發表—（單位海關兩）二月中毛織物輸入總額六十二萬九千八百七十九、その中上海に於ける輸入額別五十四萬六千九百八十四にして、之を國別に見れば大手筋英國の四十萬二千百九十九が首位を占め全輸入額の六割四分で、日本からの輸入は十四萬八千二即ち二割五分となつてゐる、綿糸布輸入總額は八十萬十一で國別では日本が五十五萬八千二百二十六で全額の約六割六分を占め斷然一位を保持し英國の二十七萬三千二百二十五約三割二分が之に次ぐ

日本の博覽會に滿洲國大宣傳
政府から係員派遣

熊本、吳、横濱の三市に於ては各市主催で三月下旬より產業博覽會が開催され、各滿洲館を作つて實業部及び滿鐵から出品した滿洲の產物並に產業界各般に關する資料が陳列されてゐるが、此博覽會に於ては滿洲國皇帝陛下の御訪日を記念する爲め熊本は二十日、吳は二十四日、横濱は廿七日に滿洲デーを催す事となつたので、滿洲國當局に於ては此の機會に滿洲國の最近の事情を日本の一般國民に知らしめる爲め此の滿洲デーに人を派遣して講演、映畫印刷物、パノラマ等の方法により、大いに宣傳に努める事となり外交部宣化司松村宣傳科長は一日情報處松澤總務科長及び國都建設局江崎庶務科長は四日、外交部呂通商司長、宣化司の丁屬官及實業部の數氏は十七日に夫々出發する豫定である

尙熊本には渡日中の滿洲國体育選手及び童兒團代表も參加し吳には二十三日に神戶に於て御膊國の皇帝陛下を奉送申上げに駐日滿洲國公使館及び商務參事官辨公處關係の人々も出席、横濱には公使館關係の人々が出席し宣傳に協力する事になつて居り特に熊本に於ては滿洲事變殉難烈士の遺族を集めて慰安會を催す筈である

九年度鐵道收入四億九千五百五十一萬餘圓

【東京國通】三月三十一日で締切つた昭和九年度中の國有鐵道運輸收入合計は四億九千五百五十一萬七千四百九十五圓で前年に比して四千二百九十一萬三千二百十五圓の大激增を示し、九年度豫算收入よりも千九百四十一萬四千餘圓の增收となつた、鐵道運輸收入の最高記錄である、昭和三年度は五億百七十萬九千餘圓であるから、之に比すれば六百十九萬二千圓の小額で最高記錄に迫つた近年の大記錄である

株主總會に於ける吉田電業社長挨拶

電業公司第一回定時株主總會に於ける吉田社長の挨拶大要左の如し

滿洲に於ける我社の電氣事業統制の現狀を大觀いたしますと、滿洲に於ける發電設備は總容量大体二九二、〇〇〇キロワツトでありまして此内社直營の分が約一三九、七〇〇キロワツト、關係會社の分が五、三〇〇キロワツトで直營傍系を合算して總容量の約五十パーセントの比率になるのであります、之れは統制圈外の事業が巨大である事實を示す樣でありますが内容は特殊地域に於ける特殊工業の自家設備の關係でありまして即ち撫順炭礦の九二、〇〇〇キロワツトを始め湖煤鐵公司や昭和製鋼所等がその主因をなして居るのであります目下企業設立の整備過程にあるものも相當多數に上つて居り全滿洲の電氣事業の完全統制も近きにありと信じます狀態を種別に依り分類しますと

一、電燈々數　一、五三八、一六一燈
二、電力設備の契約容量　一〇九、八六三キロワツト
三、電熱設備の契約容量　六、五七〇キロワツト

の現狀にあります康德二年度の新規事業計畫の大綱に就て一言觸れて見ますと主要なる擴張計畫としましては

一、ハルビンに於ける發電所增設計畫
二、新京發電所增設計畫
三、チチハル發電所計畫

等でありましてその他は各地の需用增加の實情に順應した夫々の計畫を實現して行きたいと思ふのであります

海外經濟

▲米棉
現物	一一、三〇	
五月限	一一、〇〇	
七月限	一〇、四〇	
十月限	一〇、五〇	
十二月限	一〇、五五	
一月限	一〇、六〇	

倫敦銀塊　二八片一六分七
同先限　二八片一六分九
紐育銀塊　六一仙四分一
孟買銀塊　六八留比〇〇
米日爲替　二八弗七九仙四分一
米英爲替　四弗七八仙
米支爲替　三六弗七五仙
スチール株　三六弗八分七
アナコンダ株　一〇弗八分三

▲上海日本向　第一回　一三〇五〇〇　第二回　一三一〇〇〇
▲上海倫敦向　第一回　一三一二五〇　第二回　一三一五〇〇　第三回　一三一七五〇
▲上海紐育向　第一回　一志六片　一六分五　第一回　三六弗　一六分一
▲上海標金　昨引　八九五〇　八九四〇

▲大連金鈔票
高値	八九九五〇	九一二〇〇
安値	八八八二〇	八九〇〇
本寄	八九四五〇	八七〇〇

現物
寄付	一三一四〇〇
引	一三一七〇〇
高	一三二六〇〇
安	一三〇九五〇
出來高	一二〇万元

四月十三日限
寄付	一三二四〇〇
引	二三五〇
高	二六五〇
安	八〇〇

▲大連上海向
出來高　七六〇
大連鈔票銀大洋　一二〇四〇〇　一二一三五〇
現物　九九九〇〇　一〇〇〇　九九九〇　九九八五〇

各地市場

▲大連幣台向　一〇〇〇〇　九九九〇〇　九九八〇〇　九九七五〇　九九八五〇　九九八〇　九九六五
▲阪神日米　當限　二六弗八分一　一六分三
▲大阪株式　大株　大新　鐘紡　鐘新
▲同短期　大新　鐘新　東新　日書
▲大連株式　五品　先限　豆新
▲奉天株式　東新　鉱新　日產　大新　滿鐵

▲仁川期米　當限　中限　先限
▲大連特產　◇大豆　袋込　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　◇豆粕　現物　四月限　五月限　六月限　◇豆油　現物　四月限　五月限　六月限　七月限　◇高粱　現物　四月限　五月限　六月限　七月限

新京市況

國特產現物　大豆　高粱　一三、五〇　二車　一三、四〇　一車

國特產先物　小豆　一三、一〇　一車　包米　一二、五〇　一車　大豆　四月限　四、二〇　出來高　二車　五月限　四、二九　出來高　四車　七月限　四、四六　出來高　九車　八月限　四、四〇　出來高　二一車　高粱　四月限　三、四〇　出來高　五車　五月限　三、六〇　出來高　一車

國錢鈔先物　四月十三日限　金票對鈔票　一三三、八〇　出來高　一六萬八千圓　四月廿八日限　金票對鈔票　一三三、一〇　出來高　三萬六千圓　四月十三日限　鈔票對國幣　八二、　出來高　三萬五千圓　四月廿八日限　鈔票對國幣　八二、九〇　出來高　一四萬八千圓

國錢　國幣對金票　一〇八四〇〇　鈔票對金票　一三三九〇　國幣對鈔票　八二一八〇　現大洋對鈔票　一一〇四三〇

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

滿洲國軍艦旗檣頭高く 軍艦比叡一路日本へ

萬歳のどよめき遼東の海を壓し 御見送りの諸員に御名殘を賜ひ 國土を離れさせ給ふ

【大連國通】滿洲國皇帝陛下御訪日御乘航の日、大連埠頭は第一埠頭第二埠頭及び甲埠頭に包まれる一番バースより十五番バースに至る間の一般繋船を禁止船客待合所の通行も差止めて皇上の奉迎に過誤なきを期してゐた、御召艦比叡はその巨軀を第二埠頭、十番、十一番、十二番各バースに跨つて横着けされ、供奉警備艦第十二驅逐隊は一番、二番、三番、各バース及び十四番バースに繋留され奉送艦磐手は港内一號浮標に繋留、同じく第十五驅逐隊所屬驅逐艦もそれぞれ所定位置に繋留されて鹵簿の到着を御待申上ぐかくて御到着の時刻も迫れば奉拜の團體、市民は續々と埠頭につめかけ、第二埠頭東側岸壁九番バースより十四番バースに至る間には滿鐵社員會、税關、埠頭、中等學校、愛國婦人會、女子中等學校、小學校、公學校、陸海軍現役將校在郷軍人及歷戰者官公署員、國防婦人會等の各團体總員約一萬一千名が堵列し、甲埠頭には一般市民奉拜者約六千名が整列した

○

午後五時卅分突如御召艦、供奉艦、奉迎艦から一齊に鹵簿の埠頭御到着を報ずる皇禮砲がとゞろいた、鹵簿は今埠頭玄關に御到着になつたのだ、陛下には許行在主務官以下の扈從員を從へさせられ、關根埠頭事務所長の御誘導にて船客待合所を御乘艦口に進ませ給ふ、此時渡船橋入口に御出迎へ申上げた井上比叡艦長は關根所長に代つて皇上を艦内に御先導竹下州長官の御誘導にて陛下には岸壁堵列の奉拜者に擧手の禮を給ひつゝブリッヂを渡御あらせられ、御召艦に向はせらる

○

艦上には高須、中村、山縣各接伴員並に濱田要港部司令官及び百武第三艦隊司令官以下准士官以上が艦尾に、兵員が艦首に整列し嚴かな登舷禮式を行つて陛下を御迎へ申上ぐ五時三十六分皇上には御乘艦遊ばされた、と見るや後部檣頭高く燦然たる滿洲國軍艦旗が掲揚された、同時に艦尾に於て起る軍樂隊の莊重な滿洲國々歌の吹奏、それは筆舌に盡し難い嚴かな光景であつた艦尾の我軍艦旗に對する檣上の滿洲國軍艦旗は殘陽に美しく映へ春風にはたはたと翻つて兩國の關係を暗示するが如くである、陛下には井上艦長の御案内で一旦ケビンハッチより御居室に入らせられ南大使は高須、山縣各接伴員を御紹介申上げ井上艦長、第二驅逐隊司令官及び關東局州廳首腦部、田中要塞、濱田要港部兩司令官、林總裁等に拜謁を賜り、終つて南大使並に鄭總理以下滿洲國側大官は御袂別の挨拶を言上して退艦、陛下には再び艦上に出御あらせられ設けられた御座所に御着き遊ばされた

○

時に御發航時間の午後六時、御召艦比叡は滿鐵の小蒸汽船大連丸、奉天丸の二隻が奉仕して曳航すれば艦は靜々と岸壁を離れた

○

同時に起る皇禮砲は夕闇迫る海上にこだまして、殷々と轟ぎ渡つた、此時南軍司令官は「皇帝萬歲」を發聲すればば一萬三千の奉送者は續いて一齊に萬歲を奉唱、皇禮砲の砲聲もために潰ゆるばかりで、打振る日滿國旗は怒濤と見紛ふばかりである、艦上の陛下には御座所に御起立遊ばされ擧手の禮を賜つて之に御應へ遊ばされる、御召艦は愈々岸壁を離れて、東港口へ向ふ、供奉の諸艦も直ちに拔錨御召艦に續く、此時夕陽既に西に沒して黄白嘴より三山島は早くも夕闇に包まれんとしてゐる、大連灣は夕風に油を流した如く靜まつて、たゞ艦首に波が白く碎くるばかりであるかくて比叡は遠雷の如き萬歲の奉唱を浴びて東港口より港外に出で、三山島を左方に一路横濱に向つたが、一萬三千の奉送者は艦影が夕闇中に沒するまで去りもやらず、只管陛下の御旅路の御平安を祈り奉つた

お召艦とお召列車 左上、（お召列車） 右下、お召艦（比叡） 圓内比叡艦長 井上成美大佐

想像するだに畏し 東京驛頭の御握手

東都第一日の御動靜

＝東京にて金久保特派員發＝

日滿兩國民の待ちに待つた日は遂に來た

萬里 の春波を越えて御訪日遊ばさるる我が、滿洲國皇帝陛下が四月二日愈よ新京を御發輦あらせられたとの報が、日本の朝野に達するや畏くも 天皇陛下を始め奉り、官民を擧げて御到着の日を待ち奉り、接伴關係、警備關係は一段の緊張を示し、隣邦の君主を御待ち申上げてゐるが、此の輝しい御入京は、四月六日の午前十一時半五日の御鶴程恙なく皇帝陛下を始め奉り、隨員一行をのせた光榮の御召列車は

奉迎 の新裝を凝した東京驛プラットホームに到着するのであるが此の日 天皇陛下には同日午前十一時廿分、略式自動車鹵簿にて宮城を御出門東京驛に行幸

ホーム に出御遊ばされ、御先着の皇族方を始め奉り岡田首相以下各閣僚、牧野内府、湯淺宮相一木樞相、陸海軍各大將、松平式部長官、西東京警備司令官、田代憲兵司令官、小栗警視總監、横山府知事、牛塚市長、芳澤、宇佐美兩勳一等、丁滿洲國公使以下文武百官を隨へさせられ、威武堂々たる盛觀の裡に皇帝陛下を御出迎へ遊ばされぞ、東亞の歴史上永久に殘る御會見である、かくて兩陛下には和親の御度量も濃やかに固き握手を遊ばされる、この瞬間實に感激極みなき歴史的光景が展開せられ次で皇帝陛下には公式鹵簿に召され市民の打振る日滿兩國旗、奉迎の渦の中を堂々奉迎門を通過せられ御宿舍に當てられたる赤坂離宮に入らせられ、 天皇陛下には宮城に還幸遊ばされる、かくて一旦赤坂離宮に入らせられた皇帝陛下には御少憩の御遑もなく、午後離宮御出門公式鹵簿を以て宮城に御參入あらせられ鳳凰間に於て親しく 天皇陛下に御會見滿洲建國以來 天皇陛下をはじめ奉り日本國民將士より寄せられた深厚なる御親情と御努力に對する御禮の言上あり

赤坂 離宮に御歸還遊ばされる、次で 天皇陛下には御答訪の爲略式鹵簿に召され宮城御出門赤坂離宮に行幸あり狩の間に於て御會見御答禮遊ばされるが夜に入るや皇族を始め奉り前官禮遇以上の諸官宮中に參内皇帝陛下には再び參入遊ばされ 天皇皇后兩陛下の御親臨の下に豐明殿に於て盛大な夜宴を張らせられ御陪食遊ばされるが正殿に於ては雅樂に對し特に御趣味を有せられる皇帝陛下の爲

宮内 省樂部が傳統を誇る我が雅樂中の秘曲たる「迦陵頻」「納曾利」「春庭花」の三曲を奏し優麗典雅の國粹樂を以て遠路の情を慰め奉り、皇帝陛下には赤坂離宮に御歸還あらせられて意義深き御入京第一日を終らせられる

熱誠あふるる 全市の奉迎色

代々木原頭の大觀兵式

遙々御來訪遊ばされた盟邦の皇帝陛下十日間の滯京の御旅舍たる赤坂離宮は昨秋以來接伴員の手によつて新裝を擬され、遠路の御旅情を慰むべく萬端の用意完了して、金色のシャンデリヤの光も輝かしく眞紅の絨毯大理石の圓柱の色も新たに皇帝の御到着を待ち申上げてゐるが壯麗閑雅の離宮の内

羽衣 の間には徽宗皇帝直筆の「桃鳩の圖」を始め支那歴代の名畫から雪舟筆「破墨山水圖」以下我國歴朝の名手が腕を揮つた名畫約百點東洋美術の粹を蒐め、又兩國の古書籍數十册が用意されてある等萬全を盡してゐる、又御入京當日陛下を迎へ奉る市では兩國、品川多摩川、千住の各所で

煙火 を打上げ御沿道には市立各學校生徒見童、青訓生徒、青少年團、防護團等約一萬名が日滿國旗を打振つて御奉迎申上げ歡迎の渦と化す筈である

御入京第二日—東都を埋める皇帝陛下には七日

明治 神宮御參拜、聖德記念館にて我國現代の和洋畫巨匠の作品を御覽あり大宮御所に 皇太后陛下を訪はせられ、櫻花爛熳たる九段靖國神社に臨ませられ滿洲事變の花と散つた英靈並びに護國の英靈を弔せられて御歸宮、同夜は赤坂離宮に各皇族を御招待遊ばされ招宴を催され、宴終る頃離宮前に東京市の奉迎花電車が通過する折は特にバルコニーに出でられて熱誠をこむる、市民の御歡迎を受けさせられる

第三 日我國文武百官を召され旭の間に於て引見式を行はされ、大食堂にて賜茶あり、更に滿洲國公使館に於る奉迎會に臨まれ「國香會」員自慢の滿洲國華蘭各種百五十株を御覽あり御旅情を御慰められ、同夜は永田町首相官邸に於る帝國政府主催の晩餐會に臨御、東京第三日の日程を終らせられるが、此日は御宿舍をめぐり市立女子中等學校生徒女子青年團等の大旗行列が行はれる

第四 日午前秩父宮殿下御同乘自動車にて代々木練兵場に成らせられ、御先着の 天皇陛下と共に世界に誇る我が國陸軍の精銳を集めたる大觀兵式に臨御される、此日の參加部隊は武勳に輝く近衞師團、戰車第二聯隊、騎兵第二旅團、立川飛行第五聯隊、所澤、下志津兩飛行學校の精兵約一萬、諸兵指揮官近衞師團長朝香宮鳩彦王殿下御指揮の下に步騎精兵を始め五十余臺の戰車、裝甲自動車等近代國軍の華が代々木原頭を壓し百余臺の飛行機の壯烈な大空中分列式が行はれ、陽春の天地に一大軍國繪卷を展開する筈である、更に同夜は離宮に岡田首相以下の百官を召され晩餐會を催される

滯京後半の御日程

歌舞伎座で古典劇御覽

東京市長主催の滿洲國皇帝陛下奉迎會は十日午後歌舞伎座に於て行はれるが、奉迎式後陛下には名優幸四郎、菊五郎を立役として演じられる我國古典劇の粹を集めた

歌舞 伎劇「勸進帳」「紅葉狩」を御覽の上、夕刻御歸還遊ばされるが、同夜は御宿舍をめぐつて市立中學、實業學校、青年團、青訓生等の大提灯行列が行はれ、同夜は全市民の歡迎色に化する事であらう十一日午前は

多摩 御陵御參拜、十二日は一日御靜養、十三日は特に陛下の御希望で四月四日竣工の御物孔子像を安置した

湯島 聖堂大聖殿に成らせられて御參拜、次で第一衞戍病院に滿洲事變の傷病者を親しく見舞はれる翌十四日には

宮中 に催させ給ふ御告別御會食があり、天皇、皇后兩陛下、各皇族方と最後の午餐を共にせられて午後御歸還、陛下には御告別のため赤坂離宮に成らせられ御名殘り惜しき御別れの御挨拶の御交換あり て還幸遊ばされることとなつてゐる

かくて十日間に亘る帝都御訪問の御日程は悉く終り、陛下には十五日午前東京驛御發の宮廷列車にて御退京遊ばされる豫定である

宮廷列車、自働車鹵簿 編成決定

【東京國通】六日皇帝陛下宮廷列車の編成並に七日明治神宮聖德記念繪畫館、大宮御所靖國神社、八日滿洲國公使館九日觀兵式、十日東京市奉迎會、十一日多摩陵、十三日湯島聖堂、陸軍衞戍病院、十四日御告別のため宮城御參入の各場合皇帝陛下が用ゐられる自働車鹵簿は夫々二日次の如く決定した

△宮廷列車
一、機關車二、荷物車三、二等車、隨員接伴事務員四一二等車、一二等室（判任官）一等室（高等官接伴員）五一等車、隨員接伴員六、一等車、隨員接伴員七、御召展望車の順

△自動車鹵簿
一、前驅警部又は警視二、御召自動車、警部サイドカー四輛附三、隨員者四、後驅警部又は警視、列外隨員車數輛、警視總監車、憲兵將校車、宮内省滿洲國判任

神武天皇祭休刊

三日は神武天皇祭につき恒例により四日附朝刊を休刊致しますから御諒承を希ふ

人事往來

▲辻茂樹氏（鐵路總局自動車科營業係主任）二日午後通過奉天へ
▲川上喜三氏（大興公司重役）二日午後發内地へ
▲李文龍氏（第四教導隊々長）二日午後來京
▲佐藤安之助氏（陸軍少將）同
▲吉武一等主計正（岩越部隊經理部長）二日午後發奉天へ
▲小坂種彦氏（滿洲日報社々員）二日午後來京

偶語

スポーツの春、新京体育聯盟各部のスケジュールも發表されたが本年は更に大飛躍を期しその盛んさがうかゞはれ頼もしい▼体育聯盟といへば資金はいづれも各方面からの寄附にまつといふので一見誠に虫のよい遣り口のやうだが、これもスポーツのため、市民のためなのだから當局者の努力は買つてやつてよい、▼といつて零細の金で各人の肚を痛めることは出かける方も苦勞なら出かけられる方も迷惑、そこで思ひついたのは例の赤幡鬪負案と來た▼何だか利權漁りのやうで人聞もよくないかも知れないがこれには奉天、撫順などにも先例があり、こんな大利權をアカの他人に奪はれて堪らんといふのがそも〳〵の始まりだ▼だが休聯のみが公共團体だといふわけではないが事こゝに至るには去年の經緯があるこの面目を一体どうして晏れるかといふに聊かの無理はないはずだシッカリ頼みますよ

神尾、松本氏來社

新任の文教部學務司長神尾弌春氏及び法制局參事官兼總務廳長松木俠氏は昨日午後本社を來訪新任の挨拶があつた

官車數輛の順

湯島聖堂 四日竣工式

皇帝御參拜

【東京國通】湯島の聖橋傍に竣工を急いでゐる孔子廟湯島聖堂は此程略々完成を見、鐵骨鐵筋コンクリート乍ら德川時代の姿その儘漆黑莊嚴淸礎な美容を再現するに至つたが盟邦滿洲國皇帝陛下の御來朝を間近に控え愈々來る四日午前九時から聖堂竣工式と同時に畏きに畏き邊りより御下賜の明末の遺臣朱舜水の遺した孔夫子像鎭齊式を擧行する事になつたが、十三日午前滿洲國皇帝陛下には王道の基を爲す儒教の祖孔子廟を祭るこの聖堂に親しく御參拜あらせられる筈である

尙四月卅日には復興第一次孔子祭を華々しく催す事になつてゐるがその日を挾んで廿八日より五月一日迄儒道大會を開催、全國の儒學者をはじめ朝鮮、臺灣、滿洲國、支那の儒學者約二百名參集して空前の儒道大會が催されることになつてゐる

日ソ漁業條約改訂 外農兩省で方針協議

決定と共にソ側へ意思通告

【東京國通】日ソ漁業條約改訂に關し一日午後外務省歐亞局長室に於て關係省たる外務農林兩省第二回協議會を開催し改訂交渉に臨む帝國の方針に關し打合せを遂げたが、席上東郷歐亞局長より條約改訂に關する外務省の原案指示協議を進めた結果

一、漁區競賣制度の廢止
二、借區料のルーブル換算を廢止、圓建でとし之に關聯して起る紛爭を防止すること
三、ソ聯國營漁區の減配
四、漁族保護制度の新設

に就き完全なる意見の一致を見た、而してその主眼とするところは兎角ソ聯に侵蝕された帝國北洋漁業の國家的權益確保で更に一、二回兩者協議會を開催の上、大田駐ソ大使の歸任を待たずソ聯政府に在モスクワ酒匂大使館參事官をして條約改訂の意思を正式に通告する事となつた、而して日ソ漁業條約提携交渉はソ聯が之を受理し準備の出來次第開始する筈で、遲くも本月中旬にはモスクワ交渉が行はれる筈である

社說

神武天皇祭の日に際し

世界史と民族文化の問題を考察す

四月三日、この日はわれら日本國民が悠久なるわが國の歷史を思ひその將來への發展へと緊張させられる日である、だが單に空疎に近い概念でけふの日を意義づけることは出來ぬ。筆者はこの日において特に世界史の發展と、その中に在つてのわれわれ日本民族の文化の問題とを取り上げて、これに正しい學問的な見透しをつけたいと思ふ。

◇

第一の問題は何處に存してゐるであらうか。われらは先づ指摘することが出來る。それは文化の世界的一般性に從ふ發展と、國民的特殊性とに從ふそれと、この間の矛盾また對立が、現代におけるほど激烈を極めてゐることはないのである、これは、曾つての「平和な」資本主義の時代が今や完全に變質したことを意味する、世界の諸大國において金融寡頭政治が權力を握つてゐる、諸國民經濟は一種の國家的國民的トラストに變形した、かくて大企業の發達に固有な商品の過剩生産、諸カルテルの輸出政策、及び資本主義的列強の植民政策及び關稅政策、それに伴ふ販路の狹少化、發達せる工業と遲れた農業との不均衡の增大、これらが諸國家の利害の間に矛盾を深めて行く。されば最後の議論として國家組織の能力とその陸海軍力とが持ち出されるのである。

◇

アメリカを見やう。その經濟組織の統一性は機械的に必要とされる。それは欲望の絕對的機械化である。この生産方法こそアメリカの富の源泉である。そしてアメリカは世界の構造を自らに似せて改造しやうとしてゐる。剩餘の國家は、國際的分業によつて與へられた經濟規準を以つて全文化の特質を維持し且つ生長せしめるやう用意することを要求されてゐるのである、この世界經濟の主要性に民族性格の特殊性を調和させるには二つの危險を警戒せねばならぬ、偏狹な國民主義が他民族的努力の排擊に向ふこと、民族の特殊性格を單に經濟的なものとのみして強制し反つてその性格を破壞することがそれである。

◇

道は何處に開かれるか。歷史は決して絕望を知らないといはれる。われわれはその解決の條件が、すでにもはや世界經濟の生産力とその發展にとつて帝國主義が桎梏となつてゐる處に準備されてゐるのを見出す。歷史科學にとつて第一に重要なのは、抽象的な人間ではない、また單に受動的受容的に感受的にのみ生活する人間でもない、實に社會性において、從つて世界性において積極的に行動しつゝ現實に存在する人間である、かくてここ數年來の、東亞における日本の躍進をただ理念的なものを以つて說明することは出來ぬ、單に感性的なものでこれを判斷することは出來ぬ實に、この時における一定の世界事情それこそが、かかる日本の勇躍をうながさせ、わが民族文化の問題をも決定せしめるのである。動向がすでに矛盾の解決に進みつゝあるのだ、國民、民族それは決して神秘的なものではない、過去の人間の頭腦の中でのみさうであつたに過ぎぬ、世界史と民族文化、それは我らのまへに極めて現實的であり、その證明は明瞭に展開されつゝある

機關說問題に關し 美濃部氏を召喚か

著書の處分は內務省へ移す

【東京國通】美濃部博士の天皇機關說問題に關し司法當局では引續き東京地方檢事局司法部戶澤檢事を

主任

として不敬告發事件處理に關する豫備的取調べを行はせてゐるが、之までの一應の調査の結果に基き首腦部間に於て意見の交換を行つた結果、美濃部博士の所論は從來から唱へられてゐた學說であり、その所論全体を今俄かに法律に依つて處分しなければならぬと云ふ理由は何處にも見出せない、然し乍らその所說は西洋の學說を飜譯したものであり表現用語の點に於て我國体觀念と相容れない點がある事は認める、問題はその表現用語が不敬罪を構成するか否かの點であるが之が司法處分をなすに當つては先づ博士を召喚して右の用語に就き意義の解釋を求める事が必要であると云ふに決してゐる、從つて博士は數日中に召喚、一應の取調べを受ける事になつてゐるが、其際に於ける博士の供述如何は單に告發事件のみならず紛糾を極めてゐる政治問題の解決に鍵を與へるものとして頗る注目されてゐる、然し司法當局としては本件はもともと政爭の餘波から生じた問題であり司法部がその渦にまき込まれて利用される事は極力警戒してゐる、從つて美濃部博士を召喚して犯意なき事を認め事件を不起訴に葬つた

場合

に於ても別段その理由を聲明するなどの事は行はず、又博士の著書に對する行政處分の如きも內務省の專權に關する事であるから之に一任して干渉しない方針であるが、內務當局としては司法部の意見を聽取して博士の著書中不穩當と認められる個所の修正を命ずる事になる模樣である

躍進滿洲國の 實体に驚く歐米人

宣化司長 川崎寅雄氏談

北鐵讓渡の交渉も終りほつと息をついた形のある滿洲國外交部川崎寅雄宣化司長を訪ひ最近の感想を尋ねれば氏はじゆん／＼と次の如く語つた

春になつたね、これから外國人の來滿する者もだんだん多くなるね、現に三月中でも相當の數にのぼつた、彼らが滿洲に來て第一番に感ずるのは、滿洲國の交通狀態が非常に發展してゐることだ、それは先生達が本國にゐて夢想だにしなかつたところで、今までは滿洲といへば支那のはしの方にあつて匪賊がしよつ中暴れ廻つてゐる所だと考へてゐたのだ、その次には滿洲が思つたよりも

土地豐饒で

農作がよく行はれてゐることなのだ、それから又新京に來ては國都建設の目覺しい躍進振りにおどろく、今まで野原だつた所が見てゐるうちに近代裝の都會になつて行く、建築材料を積んだ馬車が長く續いて行く、僕らは外國人が來るとここの屋上に連れて行つて國都を一望の下に見せてやるのだが、その次にはこの部屋に連れてきてみんなが熱心に働いてゐるのを見せてやるのだ、ここには滿人はもとより日本人、鮮人、ロシア人が机を並べてゐる、支那の官僚がぼんやり机に向つてゐるのとは全く違ふ新京を見れば鐵道、國道の發達、それに行政、警備機構の擴充だ、本當にその眞劍味さまのあたりに見て驚異し且つ感銘する、これを惡く考へるものは、その間に日本の軍事的勢力が大きく作用してゐると言つて恐れを抱くのだ、しかしこれは少數である、正しい認識は深められて行く、その結果が現はれて

世界の新聞

雜誌の最近の論調にも變化を來してゐることは察知されるありのまゝを報道すると不服を言ふ位だ、それ位に從來は認識が足らなかつたし、支那の逆宣傳もきいてゐたのだね、日滿兩國の不可分關係の緊密さといふものを彼らは滿洲に來てはじめて理解する、いはば先生たちは尋常一年生なのだ、イロハから敎へて行かねばならぬ、遠い所をはるばる來る先生たちだから相當にしつかりしてゐる、そして學者とか新聞記者とかはその背後に多數の大衆を持つてゐる、經濟關係者はまた具体的な聯繫を有してゐる、諸外國から資料を送つてくれと言つてくる數は大したものだ現に

といつて、一つのファイルを取つて示しながら

この通りにポーランド、コペンハーゲン、ドイツ、米國各地、オランダ、イタリー、ギリシア、パリ、スイス、カナダ、インド、東アフリカ、濠洲…とこんなに來てゐるのだよ、去年來たバーンビー視察團、米國記者團も相當な功績をあげてゐる、文化上の施設についても僕たちは大いにこれを宣揚してゐる「熱河」といふ大きな寫眞帖をバーンビー視察團一行に增つたが

これで昔は

阿片を吸ふ場所、匪賊の住居であつた熱河の離宮やラマ廟が今は完全に保護されてゐることがわかる、その他清朝實錄史の刊行、國立圖書館の創設、文敎上の改革など何れも滿洲國の達成を示すものだ、一方に又國內の事情、それから滿洲國に對する世界の見方などを國民大衆に理解せしめることもわれわれの大きな仕事だ、このためには每日プリントを作り要路に配つてゐるが更にこれをまとめて（國際評論）を刊行してゐる……

紫煙たなびく宣化司室の一隅に談話は長くつゞく、氏は語を轉じて

新京日日の最近の充實振りはほんとに素晴しいね

と稱揚の言葉あり、記者はますます御後援の程を願つて辭去した

英人の極東政策

漁夫の利を收めんとする

巴里ルタン紙所載アンドレ、デウボスコ氏所論

極東問題は今や漸く英國を中心として注目されてゐる、最近經濟調査團を滿洲に派遣したのは快擧であつた、英國の極東における事業と權威とはここ數年何ら增大を見てゐない、だが極東方面において未開發の資源は極めて豐富である、英國が斯くて若し滿洲國と提携するならばその未來の希望は甚だ大となる

以前日本は各地に於る競爭において英國よりの打擊を受けたために滿洲方面へ轉向したのであつた、それはロシアが中央アジアに對してその勢力を張らうとしたのに對して英國が强敵となつたのと同じであつた、先日のタイムス紙にはロシア新聞が英人は種々の陰謀を新疆において行つてゐると報じたのを反駁してゐたが吾人は本紙においても屢々英露の中央アジアにおける抗爭について報道した、而してこれは日露の形勢が緊張してゐる時に英人が機に乘つて漁夫の利を收めやうとしてゐるものである

シャム公使館附武官 新設任命さる

【東京國通】陸軍では今回シャム國に帝國公使館附武官を新設する事になり、一日左の如く發令を見た

參謀本部附陸軍砲兵少佐 守屋精爾

補シャム國在勤帝國公使館附武官

臺灣自治制案公布 兒玉拓相聲明

【東京國通】臺灣自治制に一新紀元を劃すべき臺灣地方制度改正法令は四月一日公布されたが右公布に際し兒玉拓相は談話の形式で左の如く聲明した

現行制度に於ては議事機關は州市街庄を通じ單なる諮問機關なるのみならず之が議員はすべて官選にして今日の臺灣の實情に即しない憾みがあるので今回臺灣始政四十周年を期し臺灣地方制度に改正を加へ民意の暢達に更に一步を進めることゝし去月二十九日勅裁を仰ぎ一日律令を以て臺灣州制改正の件、臺灣市制改正の件及び臺灣街庄制改正の件を公布することゝなつた次第である、其の改正の重要なる點は現在臺灣の州市街庄は議事機關として單に諮問機關たる協議會あるに過ぎざるを州及び市にありては議決機關たる州會及び市會を置くことに改め街庄にありては從前通りこれを諮問機關とせること、また州會議員、市會議員及び街庄協議會員を通じて其の半數を制限選擧に依る民選に改め半數は從前通り官選とすること、理事機關は、從前通り總て官吏又は待遇官吏を以て之に充て監督規定として再議取消、原案執行、强制豫算停會、解散に關する規定を設け以て監督の徹底を期したる等である、而してその實施期は本年十月一日である

完成を祝ふ 東京港まつり

【東京國通】過去三十年の日子と三千三百萬圓といふ巨費を投じて築港した大東京港の第一期完成と港の繁榮を祝ふ東京港祭は愈々一日から三日間芝浦を中心に全市盛大に擧行された、一日は午前十時巡洋艦那珂副長伏見宮博義王殿下の台臨を仰ぎ隅田川口工事竣工式が擧げられ、港の船舶は滿艦飾裡に各種の餘興が行はれ、港の將來を景氣づけてゐる、大東京關門芝浦岩壁は延長約千トートル附近の水深八メートル、七千噸級の貨物船七隻位は樂に橫づけになり目下は帝國の新銳軍艦那珂以下五隻が岩壁にて一般の參觀に供されてゐる、之に續く日出棧橋、竹芝棧橋にも三千噸級の船が十隻橫づけになつて居り、やがて八千噸級以上を收容する四號、五號、六號、七號埋立土地も近く完成の運びで東京港は春霞の中に躍動してゐる

羅府商議の 極東視察團

一行近く來滿

【北平一日發國通】米國ロスアンゼルス商業會議所極東視察團ベーヤー氏以下二十一名は三十一日午前十時二十四分南京より來北した、一行は六日夜行で奉天に赴き十日朝鮮經由訪日の豫定である

日本人の建設能力を 滿洲育成に善用せよ

"矢田參議の縱橫談"

記者の一友上海から來るあり昨日相伴ふて參議府に矢田七太郎參議を訪ひ滿洲國の躍進について聽き又上海の近狀について語つたが、友人は在上海三十年に近き人物歷代の總領事中矢田さんを以て最も敬愛すべき人となすもの、記者も亦曾つて矢田總領事時代に上海に住み氏の風格に佩服せし者の一人であつた—國務院建物の奧深き一室は淸談を妨げるもののない靜けさで、時に窓の向ふを橫切る鳥の影が見えるくらゐ、矢田さんの前額から頭部へ光輝はいよいよ增したやうだが溫容の中に秘められる精悍な心構へは靜かな語句の響にも疑へない—以下氏の言葉を記憶のまゝに書き綴る。

滿洲國の發展といふものは素晴しいものだと思ふのだよ、あちらから歸つて來る時もこれ程とは思はなかつた、帝制實施の直前に新京に着任してから一年餘、この一年間の發達が又驚異すべきものがある、この間に示された日本人の建設事業についての能力といふものは大したものだと言はねばならぬ話は違ふが先日やつて來た外務省の友人の話にいま京都で紙でマネキン人形を作つてゐるさうだ、外國に輸出するマネキン人形だよ、アメリカの百貨店あたりにそれが並んでゐるわけさ、アメリカと言へばこれも僕の知人だが去年向ふに行つてお土産に日本に無いものを買つて來やうと思つて何がいゝかと色々探したあげく、萬年筆でライターを兼ねたものをこれなら日本に無からうと思つて買つて來たのださうだ、所が何ぞ測らん、それが日本製品だつたと言ふのだ、もつと面白い話がある、アメリカに行つてゐるがアメリカ、インデアンがゐて色んな刺繡とか細工物を賣つてゐるのだね、ちやうど日本でアイヌの藝術品などといつて珍重するあれと同じだ、所が聞いて見ると賣つてゐるのはアメリカインデアンに違ひないが實はそれも日本でこしらへたものだといふ、見本だけを向ふで寄越す、さうすると日本人は何でも、巧みにしかも安價にこしらへるのだ……まあさういふわけで、日本人の建設能力は素晴しい、だが考へねばならぬのは、滿洲國ではそれを露はに出してはいけないことなのだ、この考へがまだ充分に日本人全体に理解されてゐない、これは大きな問題だよ、僕はその思ふ……上海はどうかね、在留邦人は困つてゐるだらうね、しかしまあそれもやむを得ないだらう、一時ほどのことはもう今後はあるまい、色々とやつてはゐる、中國政府でも言ふのだが、しかしそれを滿洲國における諸設の施設の進步擴充と比較すると向ふには惜しいことに繼續性がないのだ、計畫だけはいゝ、しかしそれがいざ成就といふ前に必ずぶち毀されてしまふ、國內一應の平和は出來てゐるやうに見えるが、あれで廣東は獨立してゐるのだからねそれに共産匪もゐる、かういふ話がある、北支那の連中がこちらの要人が行くとまるで何かの時の犬のやうに集つて來ると言ふのだねこれは、向ふで今に日本が北支へ乘り出して來ると思つてゐるのだねだからその時にいゝことをしやうと今から骨折るわけなんだ、これなども滿洲國の着實な發展を裏書するものに外ならないのだ、むろん滿洲國は未だ建國草々の時だ、今の滿洲國の一年は餘所の十年位に當る變化を經過しつゝあるのだがそれはその間に幾らかの摩擦などがあることはやむを得ない、……新京はますます發展するね今內地人が四萬何千かゐるといふのだらう、それも家が無くて困つてゐるのだ、家があればもつと直ぐにもやつて來るのだ、僕なども未だホテル住ひだが、それでいいと思つてゐる、今年中には六萬になるだらうね、水源工事のダムも出來る、學校なぞは建てれば直ぐに滿員になる有樣だ、早急には行くまいが、滿洲人側の敎育施設も擴充されて行くだらう、取り敢へず師範敎育から始める、敎へる者を養成せねばならないのだ、もう三年、もう三年經つたら隨分と各方面に充實することと思ふ、治外法權の問題もその頃には目鼻がつくやうになるだらう

歡談一時間、話材は多岐に亘つて續々續いたが、御多忙中を餘り多くの時間を費していただくのは甚だ恐縮であるから私達はけふの快よい會談に謝しつゝおわかれした（山口生）

北滿

東防衛地區管内の第三期宣撫工作協議

岩越〇團管下關係者集合

結果を軍司令部に報告

【ハルビン國通】岩越〇團では東防衛地區管内の宣撫工作が四月十日より愈々第三期に入るので一日〇團司令部に佐藤參謀長以下軍關係者、金井濱江省總務廳長、小野第四軍管區司令部顧問、原憲兵隊特高課長、其他協和會、三江省より關係者參集、午前九時より協議を開き

一、第二期工作に於ける宣撫工作の實績を檢討

一、各現地機關關係筋との連絡方法、其他出席者より種々意見の開陳あつて午後二時半終了

二日更に會議を續行、その結果は軍管司令部に報告される管である

十日實施の京濱線新ダイヤ

【ハルビン國通】既報の如くハルビン鐵路局では四月十日より實施される京濱線夜間列車運行に伴ふ同線の列車發着時間改正は左の如く決定した此の結果各列車とも從來の所要時間を短縮する結果、旅客の便は著しく増加され接收以後混雜した列車も充分緩和さるるものと觀られる、而して夜間列車運行に關しては昨年夏の南部線の例もあり、警備に關しては當局に於て細心の注意が拂はれてゐる

△新ダイヤに依る列車發着時刻表

ハルビン發	新京着
午前九時二五分	午後三時〇〇分
午後一時一五分	午後七時三〇分
午後一〇時〇〇分	午前六時三〇分

新京發	ハルビン着
午前九時二〇分	午後二時五〇分
午後二時四五分	午後八時五五分
午後一一時〇〇分	午前六時三〇分

各地討匪戦線

謝文東匪追擊中の小柴部隊

鳥井部隊、望月部隊

—小柴部隊—【ハルビン支局發】濱江地區の賓縣を中心に移動しつゝある謝文東、趙尚志李河堂等北滿の兇匪首の合流匪約三百名は滿洲國鄧部隊（靖安軍鎌下に屬す）に追はれ腰嶺子附近より夾信子に移動を開始せりとの報により、田村部隊に屬する小柴部隊は柞木太子（方正西南方約三里）に主力を置き、謝文東匪の擊滅を企圖し、山内部隊（田村部隊所屬）は廿七日朝約三百名の匪團が東進中なるを發見し、之を追擊甚大なる打擊を與へた。柞木太子に待機せる主力の部隊（小柴部隊）は山内部隊の攻擊せる砲聲を聞き直ちに數部隊に分れ夾心子に向け出發した。

日本軍の猛追擊に匪團は算を亂して潰走し張發屯（方正の南々東七里）に退却したが、日本軍の攻勢益々猛烈にして數回にわたつて大打擊を與へた。

更に小柴部隊は李樹園に急進し廿八日未明より追擊の手をゆるめず目下包圍攻擊中である。

北滿の野に轉々として暴虐の限りをつくした謝文東匪も今や日本軍の包圍攻擊により、その沒落の日も近き將來であると見られるに至つた

この戰闘により日本軍の損害は

負傷者伍長　水島忠

同　一等兵　松下繁

—望月部隊—横山部隊に屬する望月部隊（一面坡守備隊）は廿七日午前十時、一面坡東北方一里半の地點太平子山附近に於て天勝匪の率ゆる五十名の匪團と遭遇、激戰數刻にして之を北方に擊退した。敵の遺棄屍體十、鹵獲品小銃四挺彈藥百五十發、日本軍に損害なし

—鳥井部隊—田村部隊に屬する鳥井部隊は廿六日勃利北方六里羅圏河附近の匪賊討伐中、鮮人部落を襲擊せる兵力不明系統不明の匪團と遭遇し之に徹底的打擊を與へた、日本軍に兵一名の重傷者（姓名不詳）を出した

楊家王堡に匪襲

直ちに擊破

【ハルビン國通】三十日午後三時頃濱北線張羅屯の西方十三滿里の望奎縣楊家王堡に匪首李明の率ゐる百名の賊團襲來の報に接した日本駐屯軍〇〇名川北、後藤兩指揮官の率ゐる警察隊百名並に望奎駐屯滿洲國軍出動し約三時間に亘つて激戰の結果賊は多大の損害を受け屍体八を遺棄し潰走した、此戰闘に於て日本軍一等兵一名（姓不詳）滿軍警視二名重傷、滿軍一等兵一名戰死した

南滿

東洋一を誇る昭和製鋼工場

銑鐵五十萬キロトンを生産

【鞍山國通】二日製鋼作業を開始した昭和製鋼所の製鋼工場は混銑爐一基、豫備精錬爐二基、及び平爐四基、其他を備へその能力の大にして構造の完備せる點東洋一と稱せられる又分塊工場はその能力に於て世界の最大標準型でレール用其他の大形鋼片より中、小鋼片は勿論シートバーをも自由に造り得る優秀なもので平爐及び分塊設備の連鎖は世界に於て最も優秀なる形態を具備し、日滿製鐵界の寶といはるるは昭和製鋼所今後の鐵鋼製品實產豫定高は

銑鐵	一三〇、〇〇〇（キロトン）
鋼片	二〇〇、〇〇〇
軌條及大型	七〇、〇〇〇
小型	三三、〇〇〇
薄板	三〇、〇〇〇

で伍堂社長は近い將來銑鐵五十萬キロトンを生産すべく計畫を立てゝゐる

郷軍分會の銃劍術試合

撫順在郷軍人分會では來る三月午前八時より守備隊營庭において恒例による銃劍術優勝試合を擧行することゝなつたが選手人員は各班五名（但し有段者を除く）とし試合方法は

一、各班毎に甲、乙、丙、丁戊の符號を附す

二、各班の同符號の選手を以て一組としその組員の全部と一巡試合を行ふものとす

三、試合は一本勝負とす尚審判は正副とも守備隊に一任、優勝班には賞狀、賞品及び優勝旗その選手には賞狀及び優勝杯を授與し、別に個人優勝者第三位まで賞品を授與する筈である

假營業の凌承線運賃

【承德國通】凌承線の凌源—平泉間營業線（八七、二粁）は愈々四月一日より旅客荷物の連絡取扱ひを開始し、錦州迄直通する事となつた、尚料金は二等四圓、三等二圓六角五分である

中銀安東支行新廳舍建築

【安東國通】中央銀行安東支行では現在の建物は頗る狹隘なので豫算三十萬圓を投じて三階建近代銀行型建坪四百八坪の堂々たる新廳舍を建築することとなり、安東中富街に着工中である、本年十二月中旬までには竣成の見込みで落成の上は安東の新風景として異彩を放つ筈である

凌源に櫻

忠魂碑附近に二百本植付く

熱河省内の綠化計畫は省公署初め各縣公署に於ても多大な關心を拂ひ林業、水害、風致其他の見地より着々準備を進めつゝあるが凌源にもそれと多少趣きを異にはするが櫻の植樹計畫がある、憲兵隊や原川氏等の奔走で取敢ず忠魂碑附近に二百本を植付け、行く行くは數十本にまで押擴げて天下に喧傳せしめんとしてゐる、既に櫻樹二百本は平壤より發送し在郷軍人や青年團等の手にて植付を爲すことゝなつた

凌源神社建設

北門忠魂碑附近へ

昨年來一部の人士より魂の憩ひ場として凌源神社建設案提唱され其後機會ある毎に各方面の諒解を求めて運動中の處この程漸く實現の可能現はれ敷地の如きも過般の民會評議員會にて確定することとなつた。一時驛方面の山腹や其他の案もあつたがその重要性に鑑み愼重協議を遂げた結果最初案の通り北門外忠魂碑附近の意見有力を占めて同所に決定したものである費用は一般の淨財を仰ぐことゝし電業公司をはじめ其他の有力者間にも相當賛助する向もあるので遲くとも今夏中迄には是非共實現をと非常な意氣込みである

國際列車ひかりに金髪女性が登場

これは若き白系のロシア娘

異國情緒にひたる食堂車

【安東國通】國際列車ひかりの食堂車は今まで鮮鐵で經營してゐたが、一日から滿洲内は滿鐵經營となる事となり一日のひかりが安東通過と同時にサービスガールの白露の若き女性等にこやかにフォームを飛び廻つて初乘りの朗かな風景を點綴してゐたが乘客も快適な金髪女性のサービスに流石は滿洲とすつかり異國情緒にひたつて初日の食堂車は滿員を續けてゐた

承德に乘馬倶樂部

今回承德駐屯山砲隊の好意に依り承德乘馬倶樂部が結成される事となり、卅一日午前十時より熱河々畔馬場に於て馬部發會式を行ふ筈である

兩替店を襲つた二人組强盜

二千圓ばかり掠取

二十九日陽の落た許りの午後六時頃安東三番通り八丁目兩替店孫成德（三七）方に中折帽にマスクをかけた二人連れの男が入り來り帳場で計算中の店員孫尚德（二七）の胸倉を矢庭に摑みモーゼル拳銃を突つけ金票千三百餘圓國幣二百餘圓を强奪、他の一名は奥の溫突で現大洋を計算中の新義州白成俊（二九）の大洋三百元及表口で兩替した國幣二十五圓餘を計算してゐた劉吉喜（一七）の手から國幣を掻拂つて逃走した、犯人は店内の内情を知悉せるものとの目星をつけて極力捜査中であるが最近此の種の被害が急に増加して傾向があるので安東署では兩替店の營業時間を銀行同樣とし非常ベルを取りつけて犯罪防止に當る事になり、近く實現する意嚮である

三年越て身分確定

滿洲國官吏

漸く安堵

【安東國通】滿洲國官吏中には採用せられてより久しきに亘るも未だ辭令の交付を受けぬもの相當多く官制不完備等の理由によるものとは言へ是等の者は月俸は給せられて居乍らも身分確定せぬため少なからず不安を感じつゝある狀態である、舊臘安東省の設けらるるや省公署當局はこの點を憂慮して中央に對し速かに管下職員の發令を見る樣運動を續けた結果、過日民政部より人事科員來安し實情調査の上省公署富局と詳細打合せを遂げるところあり、種々のエピソードを產んだ本問題も遂に最近の内に解決を見るべく豫測されるに至つた

東滿

吉林材北支進出

蘇聯沿海州材に代る

天津木材商聯合會で

大々的輸入計畫を進む

【吉林支局發】天津を中心とする北支と滿洲國の經濟關係は漸次重視されつゝあるが最近唐山を中心に附近一帶より滿洲國へ輸入されるアンペラは一ケ年一千車を超へ、其の他山西チャハル方面の燕麥粟等も相當に増加し大に將來を期待されてゐるが本年に入り特に一般の注目を惹くに至つたのは吉林材の北支に於ける需要が著しく喚起された事で從來北支の建築用材は主として蘇聯より輸入される沿海州材であつたが最近蘇聯の國内建設の關係で同材の北支輸入が漸次減少しつゝあるので之れに代り吉林材が有望視さるゝに至つたもので天津の木材聯合會では國際運輸を通じ吉林材の北支輸入計畫を進めてゐるが天津に於ける一ケ年の需要は約三十萬石でこれが取引は時期の問題とされ一般關係者より大に注目されてゐる

日滿合辨生保の實現

時期は尚早だ

帝國生命大連支部長談

滿洲國では從來より滿洲に在つて活動しつゝある日本内地各生命保險會社の利潤を考慮し、新會社は滿洲國の資本と日本生保會社の資本の日滿合辨とすべきであるとの主張を商工省を通じて當業者に希望してゐるが之に關し内地各社は昨年來屢々滿洲國當事者を招き現地の經濟事情並に新會社設立に關する事情等を詳細聽取してゐたが、先般東京丸の内事務所に準備委員參集

一、新會社の既得權の關係

一、新會社の募集範圍

一、關東州附屬地の取扱方

一、收入保險の内地持ちかへりの標準

等を論じて具体案を練つた右は主として地域の問題並に資金海外流出に關する問題であり、之に關し帝國生命大連支部長は次の如き意見を述べてゐる

今度日滿合辨の新會社を設立しやうといふ氣運に向ひつゝあるやうだが、この新會社は資本金三千萬圓程度で滿洲國、日本側半分づゝ出資といふのである、地域の問題については滿鐵附屬地外を全部滿洲國の方で引き受け他を日本側にしやうといふのである、然しこれは我々にとつて非常に考へさせられる問題であり隨分壓迫を受けることは言ふまでもない、まあ時期尚早と言はねばならぬ、即ち目下滿洲國の治安維持も未だ完全には出來てゐないし滿洲の戸籍法も完成して居らぬ從つて死亡率もはつきりしてゐないのだから、多分に危險性がある、尚收入保料の内地持ちかりであるがこれは滿洲への投資と持ちかりの金の關係であるが素人筋では後者を多く言つてゐるが投資の方が多い、内地の契約高は明年度約百二十四億であるが當地十六會社契約高は一億五千萬圓で約百分の一であり微々たるものである、まだまだ今後に充分考慮の餘地があると思ふ

一般農作物種子の無料消毒實施

來る四月四日から四日間

敦化縣當局の試み

【敦化支局發】實業部で實施の春耕種子消毒については縣當局並びに敦化滿鐵農事試驗場と共力之が宣傳に大童であるが來る四月四日から四日間北門外農事試作場に於て一般農作物種子の消毒を無料實施する筈で從來病毒のため二割乃至四割の減收を見た粟作に齎らす福音は大いに期待さる

接收前後の北鐵輸送成績

舊北鐵の輸送成績は本年に入り漸次低減し特に一月中は昨年の約半分に激減したが北鐵接收直前には再び増加し三月十五日締切迄の輸送成績は昨年同期と大差なき迄に接近した

牡丹江附近の木材需給

濱綏線牡丹江附近の本年度出材豫想數量は約三十萬石であるが内二十五萬石は牡丹江の建築に使用され殘り五萬石が哈爾濱、新京に搬出される豫定である而して牡丹江木材組合は二十五萬石の用材に對し國際運輸より約三十萬圓の融通を受け他地方への流出を抑止することになつた

圖們、寧安寧北間に直通電話開通

【圖們國通】電々の圖們電報電話局では舊臘北鮮淸津、雄基方面との電話直通を實施し好成績を擧げてゐるが、今回は更に圖寧線寧安（寧古塔）及び寧北（牡丹江）との直通電話開通の運びとなり本月二十二日試驗の結果、通話最も佳良なるを認め、愈々今回之が事務取扱を開始するに至つたが商取引其他に此の電話を利用するもの多く電々側でも兩地の將來の發展性を見越し此の通話サービスには積極的に改善を施して行く旨聲明してゐる

淸津商議視察團日程

【圖們國通】既報北鮮の終端港淸津府の商工會議所主催の有力實業家十三名一行の北滿視察團の圖們を最初とする視察日程左の如く決定した

三月廿九日	淸津發圖們一泊
同　三十日	圖們發東京城一泊
三十一日	東京城發寧安一泊
四月一日	寧安發寧北一泊
四月二日	寧北發、横道河子一泊
四月三日	横道河子發ハルビン二泊
四月五日	濱江發五常一泊
四月六日	五常發敦化一泊
四月七日	敦化發朝陽川を經て龍井一泊
四月八日	龍井發上三峰を經て淸津歸着

神武天皇祭

皆さん 國旗を掲げて 御皇恩を謝しませう 四月三日を忘れるな

家庭

四月三日は皆さんもよく知つて居る様に神武天皇の御崩御あそばされた日なのです、我が、神武天皇は御年十五歳で皇太子の御位に即かせられたのです、當時の都は日向にあつて皇室の御稜威は專ら九州の地にのみにとどまり、其他の國々には尚ほ色々と災ひをする兇徒が居て其の爲に人民が大層難儀をしてゐました

天皇はこの事をお聞きになりこれを平げて人民を安心させようと思召し、擧國一致の精神を以て、御東征の大業に御着手遊ばされたのです、實際日向は大八洲國の全体から見れば、南の端にあつて全体を治めるには適當でない、やはり國の中心に都をお遷しになる必要があつたのです、かくて天皇は皇兄や諸皇子と共に臣下の者を率ゐて東征の途にお上りになり海路を西から東へとお進みになりました、今と異つて航海の術も發達してゐなかつた當時のことですから、海路も難澁であり、又御上陸なされた所では、從はぬ者共を討ち平げ、亂れた國を取り鎭めてお進みになつたので十數年の長い年月がかかりました、畏くも天皇の御身を持つての此の間の艱難辛苦は眞に恐れ多いしだいです、征伐をすると云ふ事は唯相手を倒し、相手に勝つと云ふことではなく、正しいことを行ふ精神で、天皇の御東征から御即位までの御事實の上に十分現はれてゐます大和の地方も悉く平定したので天皇は畝傍山の東南にある橿原に宮を立て、三種の神器をお祀りして、天津日嗣の御位にお即きになりました、我が日本の國体が萬國に優れてゐる點は、歷代の天皇が常に天照大神の御神勅を守つて仁政を布き、臣民を赤子の樣にお慈しみ下なり、人民は天皇を親の樣にお慕ひして忠君愛國の誠心を捧げ奉つて居るからです、皆さんも此の日は謹んで敬意を表し、御稜畝傍山の方に向つて一家擧つて遙拜し門戸に國旗をかかげ皇恩を感謝せねばなりません

子供に讀ます本 どんな本 どんなに 與へるべきか ―知識慾の芽を伸せ―

讀書といふことが子供にどんな力を持つてゐるかといふことは、今更新しくいふまでもありませんが、それにはどんなものを與へたら宜しいか、勿論子供達の讀むままにまかせておいては心もとないことです、又やうやく讀書力といふものの出て來る十二三歳頃に、上の學校へ行く準備だとつめ込主義の教科書しか與へられてないとしたら、これこそまた寒心すべきことでありませう

一方 子供の讀物の出版數が年毎に増加してゐることは御承知の通りで、それらの選擇を子供自身にまかせておけば、子供は本の表紙を見、題を見て面白さうな目立つたもの、少しも骨が折れなくて、子供の持つほがらかさユーモアを満足させてくれる、漫畫、漫文のやうなものの好かれるのは當然といへよう

併し かうしたものの一てんばりでは、いかにもなさけないことです、そこへ一歩のりだしていただきたいのは先生方家庭のお母さんです、なぜならそんなものばかり讀んでゐるかと思ふと時たまに子供は大人も及ばないやうな本を選擇して讀みはじめます英雄、偉人の傳記科學などそれを自分自身の手によつて選び出して讀んでゐるといふことは大したことです、それでナポレオンとか豐臣秀吉とかの英雄豪傑ばかりではなしに、中江藤樹とか、その他直接自分達の修養になるやうなものまで讀んでゐます、子供は大人の考へるよりも自分で自分を律してゆく力を持つてゐます、ですから

折角 本を選んで買つてやつても、好くものでなければ讀みはしない―などと諦めずに、どうか子供達の中に持つてゐるよい芽を發見して、それをのばしてやるやうに家庭でも大いに注意して、さうしたものを與へていただきたいものだと思ひます

朗らか小父さん

今日の献立

朝～味噌汁＝實は葱の小口切

晝～目刺＝大根おろしを添へます

晩～白魚干のつくも煮＝白魚干は微溫湯で洗ひ、別に三つ葉を少々一寸くらゐに切つておきます

五人前として煮出汁四合を煮立て鹽と醬油、味リンで吸味より少々濃目に味をつけ、白魚干と三つ葉を入れて、よくほぐした玉子を、上から細く一面に流し入れ、玉子の固るのを程度に椀に盛ります

肉彈鬼中隊（ロストパトロール）＝R、K、O映畫＝

變つてゐるのは女が一人も出ない映畫であることだ、メソポタミアの異境に祖國のために奮戰する英國の一偵察隊が不幸、その指揮者を失ひ、自分らの隊が何處にゐるのか、何んの目的を持つてゐるのかを知らない、生ける死刑囚にも等しきこの外人部隊が綴る歐洲大戰血史の一頁こそは巨匠ジョンフォードの才腕によつて觀る人を哭かしむるに足るものだ、非常時下のあらゆる人達に捧げられる作品である主演はヴヰクター、マクラグレン、二日より長春座上映中

（寫眞はその一場面）

自分で作れる風雅な植木台 工夫一つでかうも面白い

◇先づ蜜柑箱を表面ガサガサしてゐますから火を焚いてこがします―瓦斯の火で燒く時はフイゴをつけて空氣を入れると强い焔が出る―後タワシでよく摺つて燒けた所をおとすと中の杢目が出て大變おもしろいものになります

◇次に箱の四角に竹の脚をつけるのです、竹は節を殘して箱の高さより三寸位長くして四本きります、節のある方を上部にして節下の横に中程迄挽き込を二ケ所につくつてその部分を割りとり一方は箱の高さだけに上部と同樣に挽きこの間を上部から切出しを入れて割取ります

◇次に箱の角へこの竹の割取口をはめて箱の木口即ち側面から錐もみをして釘づけにします釘は二三本打つ、之だけでもよろしいのですが廊下とか緣側に入れるものはこの燒いた杢目の上にニスを塗ります、二三回塗りますと美しくなります

◇この中に植木鉢をいれると鉢のきたないのがみえなくてすみますし美しい鉢でしたら上部に一本巾の木を二本或ひは三本（ニスを塗つた物）をあげてその上に鉢をあげてもよろしゆうございます

◇燒かずに白ペンキを塗るも四方は青竹に白といふ調子でよい鉢台となります

作法メモ

名刺は本人の代理ですから汚れてゐないものを使用すること、また貰つた名刺をその人の面前で、グルグル巻いたり、折り疊んだりするのは實に失禮であります

名刺は白紙に印刷したものを正式とし、書いたものは略式としてあります、寸法は西洋式では婦人は男子よりも大型を用ひるため、長さ八十三粍幅四十四粍を婦人用、長さ七十六粍、幅三十八粍を男子用の標準型としてありますが、わが國ではまだ婦人は男子よりも小形を用ゐてゐます、テカテカした光澤紙（アート紙）いかつい太字（ゴヂック）金緣、襍標入りなどは決して上品なものではありません

注意としては、社交用名刺には職業的事項は書くものではないが、爵位學位は差支へありません、職業用名刺には、特に用のない限り、自宅を書かぬがよろしい、親がかりの者が住所を書く場合には、必らず「何某方」と「方」をつけるべきです

名刺の折り方は、自身で社交訪問、または告別訪問の時は向つて右上角を折る、左上角は弔問、右下角を折るのは慶賀の意味左下角を折るのは弔意または告別の意味を表はします、つまり告別の意味を表はす時には二種の形式があります

こんな異狀はないか？ 脈の見方 ＝初期紙上診斷＝

▽…脈は、乳兒一分間百以上壯年者一分間七十前後が健康体の數で、熱が高いと百六七十から二百位に上ることがある

▽…脈が少くて五十位なのは心臟衰弱

▽…細かくて打つてゐるのかゐないのか、ちよつと判らないのは貧血

▽熱が高い割に少い即ち体溫四十度內外あつても、脈は百十前後といふやうなのは腸チフス

▽…早く多く打つのは發疹チフスマラリヤ

▽…弱くて打ち方が不整なのは赤痢

▽…百以上打つのは肋膜炎

▽…熱がなくて脈が多いのは心悸亢進症神經衰弱

×　×

學藝欄

映畫批評
一つの貞操（蒲田映畫）
―弱々しい內容―

今流行の吉屋信子の原作を野村浩將が、監督したものであるが如何に讓歩してみても、これは香しからぬ映畫である映畫から窺へる吉屋信子の原作もさることながら、野村浩將の愚劣さ加減も相當なものである奥行のない、氣品のない、弱々しい（これは女流作家の精力の問題でもあるが）內容とこれに相應しい形式と、何處をどう採つてみても寒心すべきものだけしかもつてゐないのである

×　×

自分の戀人に、叔父の取りきめた婚約者がゐるので、寂しく自分の戀をあきらめて、めそ／＼泣いてゐる古い悲劇形の紀美子と云ふ女、自分自身で種を播いた悲しみにのぼせ上つてゐる、その戀人が死ぬとフランスとやらに音樂修業に出かける誠に結構な御身分でゐらせられる、これと、嫌な男と一緒になつて、夫の愛してゐる女に、夫を誘惑しないやうに頼む綾子と云ふ女―皆古い形の中で徒らに歎いてゐる

×　×

近代的な色彩も息ぶきもないショパンのノクタンが幼稚な感傷を添へてこれもくすぐつたい事である、そして、此の映畫には一人の惡人も出て來ない、穩健な人達が必要以上の遠慮とか謙讓とかの美德を發揮して苦しんでゐる

×　×

野村浩將も、齋藤良輔も、高橋與吉も皆腐り切つてゐる空虛な平べつたい凡作一ッ（N生）

爆撃機
橫光の主張 その他

橫光利一が現代の大きな惑星であることは疑ひを容れない一作ごとに彼は現代インテリ層の注目を呼ぶものを提供してゐる

その橫光が四月の「改造」に「純粹小說論」といふ一文を書いて、われらの理想とするものは純粹小說であつて且つ大衆文學たるものであると言つてゐる、僕はこれを斯う解する、すなはち文學に社會性を與へよといふのだ、これならば最近の一派の作品がいはゆる心境もの、單なる小說業者の身邊の出來事のみを扱つて來てゐるのに對立して豐かな內容を、ひろい享受素材を持つところの文學出でよといふのである

言葉を代へて次のやうに言ふことも出來る、すなはち、滿洲で書くならそれらしいものを書けと言ふのだ、日本の何處にゐて書いても同じやうなものは困る、これは文學の地方主義といふやうな觀點からも論ぜられ得るんだが、僕は言ひたいね、新京はもう田舍ぢやないんだ、と、一國の首都なんだよと（二十一回猛士）

俳聖芭蕉と
その俳文を語る

芭蕉はその俳句のみならず、文章に對しても亦甚だ敏感な人であつた、その文は生活の折節に、彼の感興を晙つたことゞもについて思ふがままに書き記したものが多く、文章のための文章といふものは殆んど稀である

これが許六や也有のものになると悉くがさうであるとはいへないまでも、少くともその或る部分のものは、故意に言語の遊戯に終始してゐるのであつて、それだけ不自然な輕佻な感じのするものが少くないが、芭蕉に至つては、さうした點を微塵も認める事が出來ない

―□―

芭蕉は誰も知つてゐるやうに殆んどその生涯を旅に送つて居り、その間に思を潜め句を作り、文を草するといふ事をしたので、よしやわづかの閑居の時に創作せられたものでも、多く旅行中の思索や見聞がその材料となつてゐるのである

無論彼はそれを紀行の筆に載せ、また俳句の題材としたのであるか、更にそれだけでは尙心にあき足りなく思はれるものが少くなかつたと見え、その特に感興を惹いた點だけを取立つて色濃く强く表現したのが、獨立の文章となつてゐるのである

例へば「十八樓の記」「洒落堂の記」「既望賦」等十篇餘はさういふ動機に成つてゐるこの中には單に自ら興を述べるといふだけでなく、人の別墅の風光を讃へたり、温いもてなしの心に酬ひたりするために書かれたものも無いではないが、彼として自己の情を僞つて人に阿つた種類のものは一つもない、隨つて、たとひ動機には「さういふ所があつたとしてもその文中にのべられた詩興は彼の本當に感じ觸れたものに相違ないのである

―□―

芭蕉の俳諧の特質が、生活と藝術の渾融にあることは今更いふまでもない、彼の藝術は彼の生活を離れては存立しないのであり、その藝術は彼の生活を深めてゆくと共に生活の深まるに從つて藝術も向上して行つたのである

この事はまた俳文に於ける場合をも包含するものであつて文を人との一致、文と生活との渾融と云ふことが、彼の文章の特質として第一に考へらるべきものであらう、ことに彼の最も力を注いだ短詩形では、十分にすべてを語ることが出來ない感があるが、文章に於てはその長短に制限が無いだけに、彼の心境や生活を十分に表現してゐるのである

その意味に於て詩人芭蕉を知らうとする考は、今一層彼の俳文と云ふものに着眼し、研究する事が肝要であると思ふ

―□―

春五句（芭蕉）

春の夜や籠人ゆかし堂の隅
春雨や蓑吹きかへす川柳、
春雨や蜂の巣つたふ雨のもり
不性さやかき起されし春の雨
山路來て何やら床し菫花くさ

ひかうき　島田良幸

ひかうきぶん／＼
　とびまわり
東へ西へ
　とんで行く
くるりとまわる
　ちゆうがへり

へいたいさん　石井一淑

へいたいさんは
　いさましい
らつぱをふいて
　とつとことつとこ
あしなみそろへて
　とつとことつとこ
とつとこ、とつとこ
　いさましい

（西廣場校兒童作品）

新京ホトトギス句會報

句會に、吟行に、吾々の句興をそゝる春となりました、わがホトトギス句會も、例會場を白菊町の滿鐵白菊倶樂部に移してから新らしい來會者も殖えて益々盛大になつて行つております、句會例會は毎週木曜日の午後七時からです、同好の方々の御來會を希望します、次回の例會は
四月四日（木曜日）兼題草萠、入學、
四月のなかば頃、俳句大會か大吟行會でも催したいと考へてゐます。

七、八回句會作句

流氷や對岸の家灯を點ず　佐知緒
苦力來プラットホーム一杯に　同
流氷の岸に戰死の碑一つ　同
白塔の風鐸鳴るやばい　風來
春泥や橋のたもとの煙草店　同
枯葦の折れて氷の流れけり　ト魚
流氷やこの渡場に人見えず　同
彼岸寺砂新らしく踏まれけり　筑前郎
まつすぐに上る煙や春の宵　牙城
流氷や大鐵橋をゆるがさず　同
流氷や橋から見ゆる土の家　同
何となく身のくつろぎて春の宵　十字夫
流氷を見て來て宿をとりにけり　瞌子
流氷の江口近き港かな　同
塔高くばいの空鐘を打つ　同
ばい風や上古の塔に見き　同
ばい風の國境遠く君ゆけり　同
流氷や巨船の焚ける黑煙　三堂
洋館の庫裡なり假りの彼岸寺　同
よく似たる顔の揃ひし苦力來る　同
蒙古風衰へ見えし城市かな　同
春泥のつきゐる幼稚園帽子　同
春寒や手ヲケの花の襖うち　水頌

大滿洲帝國 体育の目標（五）
体育聯盟理事 奥勝久

筆者は此の批判について避けたいと思ふ然らば滿洲帝國は如何と云ふ事になると体育に於て其の競技の技術に於て亦國民一般の理解に於てまだまだ世界各國と比較し甚だ心淋しい感があります然し現在競技に就て見ましても年々非常な勢ひで隆盛となつて來ました、競技の種類中ある競技は世界オリンピック大會に出場しても堂々他國の選手と技を爭ひ決して遜色のない立派なものもあります又年々体育に關する理解も非常に進みつゝあります、スポーツの一般化とか或は体育の生活化とか云ふ事は歷史を通じて何れの時代に於ても常に眞理であります、此れは先進國である日本に於てさへも度々繰返されて居る言葉であり滿洲帝國の体育界に於ては今後此の言葉を繰返し繰返し切言されなければならぬ重大なものと思ふのであります

滿洲帝國各地の競技大會に於て從來選手の顔ぶれが餘り違つて居らないと云ふ點が多少有る樣に思はれましたが昨年第三回滿洲帝國休育大會には新らしい立派な選手も仲々多く參加せられた樣で滿洲帝國の將來にとつて甚だ歡ばしい狀態であります、スポーツは其れに參加する事に意義を見出すものであり理想としては勝負を度外視して國民總ての老き若きも和氣藹々裡に愉快に競技を樂しむ爲に參加する事であります倒へ又其れが出來無くとも少くとも大部分の者が參加する樣にしなければ体育的な見地から見ると其の效果は甚だ少いものであります、特殊な選手のレコードを向上させたり優勝させると云ふ天才教育は比較的困難の樣に見へますがこんな事は何んでも無い事で亦其の效果がはつきりと解り仲々結果に於て華々しいものであり得てして遂自然と其の方向に傾くのであります、現在支那の体育が全く常軌を踏外した特殊スポーツ選手養成の道を辿つて居るのであります、反之して一般化の問題、普遍の問題になると特種選手養成の華々しい結果と違ひ直ちに結果が現はれないのと非常に地味であるだけ遂ひ等閑にされがちであります

スポーツの一般化の上に築かれないレコードは根の無い花と同樣なもので滿洲帝國の体育は此の如き根の無い花であつてはならぬので、硝呼とした基礎の上に高い實に立派な体育の樓閣を築いて行く事が滿洲帝國の目標であらねばならぬので亦大滿洲帝國体育聯盟の主旨は其處に有るのであります

体育は實行する事に依り眞に價値があり勵行する事に依り效果を收め得るものである事を切言したい、實行へ／＼と進んでこそ現在滿洲帝國々民の富の力ともなり健康生活ともなり、從つて其處に產業の發展ともなる事を私は堅く信ずるものであります兎角文化が進展し社會の組織が仲々複雜になると國民の身体運動即ち体育が段々次第に低下して行く事で之は國家にとつて非常に歎かはしい事であります、身体をして又惹いては精神をして强壯に健全にならしめて此れを有效な所の活動を爲し得る事が所謂体育の眞の主要な目的であり之は實に國民の活動能力の水準を高める事であり惹いては其の國の文化及國家動力の根本を築く大いなる基礎となるものであると思ひます

一寸橫道に外れる樣に思はれるが筆者は特に諸君へ一言して置きたい事は諸君は張學良時代は實に堂々たる華かなスポーツであつたのに滿洲帝國となつた現在のスポーツはそれ程でもないと思はれるかも知れぬ亦或一部の人々はそう言はれたが、非常に間違つた考察で學良時代の体育指導原理と現在滿洲帝國体育指導原理と其處に大いに差のある所を考へて貰ひたい學良のスポーツは唯名選手のみを作る天才養成のスポーツであり空騷ぎのスポーツで一般化普遍化のスポーツでは無く唯華かにやる事がスポーツだと思つて居た

前述の如く現在支那のスポーツと何の變りも有りません、滿洲帝國の体育は此の如き淺薄な考へでやつて居らぬ事を責任をもつて斷言します、再言する樣ですが滿洲帝國の体育は決してかゝる性質のものでなく之により心身を鍛練し之により興國の意氣を發揚し之により鄕土の平和を樂しみ之により國家に對する忠誠の眞義を確認せしめる鍊御簡明な手段としての体育であります

廿七日から春競馬 新京、奉天で開催
飛ぶように賣れる壽搖彩票 ホクホクものの馬政局

全滿のトップを切つて來る二十七日から奉天、新京で

春季

大競馬大會が開催されるが同大會の付きもので人氣を集めてゐる馬政局發行の壽搖彩票は今回當籤箇數一四につき一箇の配當金を增額したのでファンの人氣を一層に增し發賣開始と同時に既に前季の發賣總額を

突破

する狀況で各地とも素晴しい景氣でこの向きなら締切までには全部賣切れるものとて當局では大喜び、なほ代賣人は鐵嶺、齊々哈爾の二ケ所に新設される豫定であるから同地における代賣人希望者は早く申込まれたいと

御訪日に關する電報の大殺到
繁忙を極めた電報局 一段落ついてホッと一息

滿洲國皇帝陛下御訪日に關し滿洲國政府と日本政府間、各地警備に要する命令、各新聞通信等電々會社新京電報局は三月中旬頃から係員を增員し毎日午前二時三時まで連日休憩の暇もなくまつたく目のまはるやうな活動をつゞけてゐるが大体御訪日に關する電報は二日まで十萬は下るまいと見られてゐる、それかあらぬか同局三月中の電報は三十五萬七百六十五、で二月の二十萬八千五百六十八に比べて十四萬二千百九十七の激增で更に前年同月に比べて十八萬八千八百八十九といふ驚異的の增加數を示してゐる

新京署の警衛團解散

滿洲國皇帝陛下御訪日御警衛の大任を無事にはたした新京警察署では二日正午より署構內に於て警衛團の解散を行つたが關東局より御影池警務課長列席、同課長より署員に對し勞をねぎらふ挨拶あり慰勞宴を開き一時過ぎ散會應援の沿線警察官は午後一時五十分と同十時の列車で夫々任地に歸還した

滿鐵社員會 新舊幹事長から挨拶電

滿鐵社員會中島前幹事長の任期は四月一日をもつて滿期となり一日から新任の中西氏が就任したが新舊幹事長から本社宛左の挨拶電があつた

滿鐵社員會九年度幹事長中島宗一、三月三十一日を以つて任期を終り十年度幹事長中西敏憲四月一日就任交替せるに際し從來の御好誼を深謝すなほ本年度もより一層の御援助をお願ひ申上ぐ。　中島宗一、中西敏憲

疊商組合總會 新役員を決定

新京疊商組合では一日午後三時から記念公會堂第二集會室において組合總會を開き昨年度の決算報告、役員改選の後懇親宴を張り九時散會したが新役員は次の通り

會長長島武市▲副會長北山京平▲會計幹事鵜殿長壽惠▲幹事井出美明、兒玉秀太郎、中村疊店末永和三郎、藤山德一

新京大防空演習 來る六月ごろ擧行？
六日關東軍司令部で打合せ

新京防空協會では關東軍、滿洲國その他關係官廳と協力して六月ごろ新京を中心として一大防空演習を擧行する計畫を樹てゝゐるが、これが打合せ會を六日午後一時から關東軍司令部會議室において開催し、關係官廳の代表者會合して具体的方法を協議することゝなつた

新京幼稚園 五日入園式

昭和十年度新京幼稚園入園兒童の体格檢査の結果總受驗者二百二十名中トラホーム患者が十五名（六分八厘强）これを前年度に比較して約四分の一患者が多い即ち昨年度は二百二十八名中トラーホム患者は僅六名に過ぎなかつたその身体虛弱のため入園不許可になつた者が十七名、なほ本年度入園許可者は五日午前十時から室町小學校講堂で入園式擧行されるので父兄同伴當日は登校されたいと

去る卅日朝東京驛着の日滿交驩競技出場滿洲國選手

御滯日中の御動靜を日滿兩國に放送

滿洲國皇帝陛下御滯日中の御動靜は日々ラヂオを通して御放送申し上げることになつてゐるが陛下の御動靜のほかに兩國民間の交驩放送も全國放送局で中繼されることとなり一日次の如くプログラムが決定した、殊に九日觀兵式後明治神宮競技場において行はれる日滿國歌合唱會には陛下御躬ら御臨場あらせられ帝都三萬の女學生群の合唱を御覽遊ばされるはずであるが新京では高女、女子中學校、公學校生の合唱會が高女講堂で催される

四月三日
午後五時（東京）
「滿洲國皇帝奉迎歌」

四月五日
午後五時二十五分（東京）
挨拶「滿洲國皇帝奉迎の辭」
內閣總理大臣　岡田啓介

四月六日
第一　御召艦橫濱御入港御模樣
イ、時刻　午前八時半乃至午前一〇時
ロ、場所　橫濱稅關第四號岸壁附近
第二　東京驛御着輦奉迎實況
イ、時刻　午前十時半乃至十時五十九分
ロ、場所　東京驛前廣場
第三　午後五時乃至午後五時半（東京）
奉迎「子供の時間」
第四　滿洲國皇帝奉迎の夕
イ、時刻　午後六時半乃至八時半
ロ、全部「東京」より中繼
第五　御安着奉祝の夕
イ、午後九時〇〇分（新京）祝辭
ロ、午後九時二十分（奉天）演藝
ハ、午後九時四十分（大連）演藝
ニ、午後十時〇〇分（哈爾濱）露語演藝
備考注意　第五項は目下計畫中要

四月七日
第一　午前八時三十分乃至九時（東京）子供の時間「ラヂオ見物滿洲國」
第二　午前九時四十分乃至十時十分（東京）講演「滿洲國皇帝陛下の靖國神社參拜に際して」陸軍大將　荒木貞夫
第三　午前十一時五〇分乃至零時二十分（定例全日滿、新京）挨拶「皇帝陛下の奉迎を謝す」國務總理大臣　鄭孝胥

四月九日
第一　滿洲國皇帝陛下觀兵式御閱兵御模樣
イ、時刻　午前八時半乃至十時四十分
ロ、場所　代々木練兵場
第二　御來訪奉迎日滿國歌合唱會
午後〇時廿分乃至一時〇〇分（明治神宮競技場）
第三　臨時內地向送出
午後〇時十分より一〇分
新京高女講堂中繼「日滿學生の合唱」

四月十日
東京市主催「皇帝陛下市民奉迎會式典實況」
イ、時刻　午後二時四十分乃至三時
ロ、場所　歌舞伎座

四月十二日
日滿交驩の夕
午後七時〇〇分乃至八時三十分（東京）（奉天）（東京）

四月十四日
午前十一時五十分乃至零時二十分（定例全日滿放送、大連）
講演「滿洲國の鐵道」滿鐵副總裁　八田嘉明

四月十五日
第一　滿洲國皇帝陛下奉迎近畿特輯
京都及大阪南放送局送出
午後七時乃至八時三十分
第二　滿洲國皇帝京都驛着輦御模樣（但短波にて放送出來たらず）

四月二十三日
滿洲國皇帝陛下御發輦御模樣
イ、大阪　午前八時十五分乃至八時三十分
ロ、神戶　午前八時五十分乃至九時二十分

四月二十六日
御召艦大連御入港御模樣（豫定）
大連埠頭（未定）

四月二十七日
第一　大連御上陸及大連驛御登輦御模樣
埠頭及驛ホーム（午前七時前後）
第二　奉天御通過御模樣
奉天驛ホーム（未定）
第三　新京御着輦御模樣
新京驛ホーム（午後五時三十分前後）
第四　御歸國奉迎の夕
イ、時刻　午後六時半乃至十時半
ロ、處置　全滿連絡による

四月二十八日
第一　午前十一時五十分乃至零時二十分（定例全日滿放送）
講演「滿洲の安寧」
關東軍司令官陸軍大將　南次郎
第二　臨時日滿交驩放送（豫定）
イ、時刻　未定
ロ、處置　御駐日終了により挨拶の交換として取計らふ

昭和十年度の武道行事決定
新京体聯更に活躍

十年度新京体育聯盟劍道部および柔道部の行事は左の通り決定した

劍道部

△全滿春季劍道大會四月十四日大連（選手三名派遣）
△招魂祭奉納試合四月二十七日新京（十五名）
△各部對抗劍道大會五月十二日新京（各部六名宛）
△新京神社奉納試合五月十五日新京（二十名）
△滿鐵各支部對抗大會六月十九日奉天（七名）
△武德會滿洲支部大會六月旅順（三名）
△土用稽古七月新京
△內地學生聯盟來京同上（十五名）
△國士館劍道部來京同上（十五名）
△武道專門學校劍道部來京同上（十五名）
△北米劍道部來京八月新京
△早大劍道部來京同上（十五名）
△新京神社奉納試合九月十五日新京（十名）
△秋季劍道大會九月上旬奉天（六名）
△同上十一月中旬大連（六名）
△寒稽古一月中旬大連
△春季武道大會三月上旬撫順（三名）

柔道部

△新京部內大會（体聯）四月二十五日新京（全選士）
△新京神社奉納試合（社會係）五月十五日新京（十五名）
△全鐵道對全新京（体聯）六月中旬新京（二十五名）
△全滿洲對鐵道軍（全滿有段者大會）六月中旬大連（四－五名）
△全滿有段者會對外試合出場（同上）六月下旬大連（四－五名）
△土用稽古開始（体聯）七月新京
△東京學生聯盟對全滿洲軍試合（滿洲有段者會）七月中旬大連（四－五名）
△東京學生聯盟と交換稽古（体聯）七月中旬新京
△遠征に參加（全滿有段者大會）八月上旬（三－四名）
△新京神社奉納試合（社會係）九月十五日新京（十五名）
△大日本武德會專門來京（体聯）十月中旬新京
△全新京對吉林戰（体聯）十月吉林（十－十五名）
△全滿無段者大會（体聯）十月二十三日（十名）
△滿洲有段者團体試合（有段者會）十一月十八日（五名）
△寒稽古（体聯）一月十日新京
△全滿無段者大會（滿洲有段者會）二月上旬奉天（六名）
△全滿柔道大會（滿鐵大運動會）二月中旬大連（三－四名）
△醫大大會（醫大補仁會）二月十日奉天（三名）
△滿鐵運動會（撫順支部大會）撫順運動會三月十七日撫順（六名）

首都警察廳管下各署 一兩日中に大異動
署長級以下廣範圍に及ばん

治外法權撤廢に備へて滿洲國警察機關は日本內地の警察機關を目標に著々改善面目を一新してゐるが更に內容の充實を圖る目的から首都警察廳及び同管下九署の日滿署員大異動を行ふことゝなり首都警察廳警務科では種々準備中であつたが時あたかも滿洲國皇帝陛下御訪日に際しそれが警備のため發表が延引中の處二日御警備も終つたのでいよいよ一兩日中に發令を見る筈である、今回の異動は各署々長以下各主任警佐巡官警長等會てない廣範圍に及ぶものと見られてゐる

新發屯建築延期問題解消 六月までには著手に決定

さきに二十四名の連署を以て國都建設局に提出した新發屯商店街の建築延期問題に關してはその後關係者間において鋭意審議中であつたが、右二十四名のうち本年六月で契約滿期となる者は六名にすぎずこれらの人については先月中旬以來各個に招致して協議を遂げた結果六月までには全部建築に着手することゝなり一時は市民の注視を集めたこの問題も漸く解決した、然し當局では正當な事由のある者には延期を認可する意向ある模樣でいまゝでに建築の延期を許可したものは一件である

ガッペ司教の歸國

新京駐在ローマ法王特任暫行代表ガッペ司教は布教狀況報告のため、ローマ及び故國フランスへ歸る事となり數日中に出發する事となつたが留守中はアンドレサガール神父が事務代理に任命された

シーズン開く

滿洲國野球部も 愈々五日より練習
三日夜中銀クラブで懇談會

大滿洲帝國体育聯盟野球部では三日午後六時から中銀クラブで古海部長以下各選手並に新人の三選手を交へシーズン開き打合せのため懇談會を開催することになつた、なほ同部の練習初めは五日から中銀グランドで開催される

選拔野球五日

中等選拔野球試合第五日愛知商業（先）對下關商業は五對三で愛知に、中京商業（先）對廣陵中學は七A對三で廣陵に島田商業（先）對岐阜商業は五A對三で岐阜に夫々凱歌上つた

優勝盃を競ふ 滿洲國各部局軟式野球戰
十日より火蓋を切る

滿洲國野球部主催の各部局對抗の第二回軟式野球大會は來る十日から中銀グラウンドで華々しく火蓋は切つて落されることになつたが、出場チームの申込は非常に多く本年は昨年より多く二十五チームは下らない模樣である出場チームはいづれも榮へある鄭總理の優勝旗並に遠藤總務廳長の優勝盃を確得すべく意込みで猛練習を開始してゐる、部局內では優勝チームの豫想でもちきれとなつてゐる

イラナニ氏來朝

フイリツピン体協代表イラナニ氏は東洋体育協會專門委員會出席のため二十一日來朝

滿洲國体協緊急理事會

滿洲國体協では東洋体育協會專門委員會代表派遣の件に關し本日午後四時より文教部に於て緊急委員會を開くことゝなつた

軍醫養成所應募合格者

三月廿五、廿六日の二日間新京、奉天、ハルビンの三ケ所で採用試驗の行はれた軍醫養成所第三期乙種學生募集は應募者約四百名に達したが、試驗の結果三十名の合格者を見た、右合格者はハルビン軍醫養成所に於て三ケ年講習を受けた後各部隊に配屬されることとなつた、合格者氏名は左の如し

時振駿、李國、蔡志超、孫德昌、禹仙舟、許鳳陽、任秉巽、初世奇、任永忠、陳、于彰昭、姜兆謙、趙成林、李德輝、方德祥、吳寶馨、劉言、何若榮、王瑛、王香普、解重三、禹興勃、路慶文、鐘明浩、田慶藍、張恩波、郭振聲、呂夢星、高仰華、吳亞東

雪洲一座來演決定 本社後援で公會堂にて

世界的名優早川雪洲一行百余名の一座は目下大連に於いて好劇ファンの白熱的好評裡に公演を續けてゐるが、一座は大連に於ける公演を濟して來る十六日から本社後援の下に記念公會堂に於いて大々的に蓋を開けることになつた

故大崎特務曹長葬儀

飛行第〇〇隊故大崎航空兵特務曹長の葬儀は二日午後四時から新京高等女學校講堂で有田中佐委員長の指圖のもとに嚴肅に執行された、なほ遺骨は八日午前七時發ひかりで遺族に捧持され內地へ凱旋の豫定

遺骨八体奉天へ還送

靖安軍第二國長故安部美雄氏外八体の遺骨は二日午後三時着列車でハルビンから到着、日滿軍官民多數歡迎送裡に同四時發列車で奉天に還送された

滿洲事情案內所の奧村さんは大へんお眼が近いのである、そのことは知つてゐたが、先の日曜日令息をつれて御散策の所に記者行き合せ色んな話をしながら歩いて行つたのだが、ふと先生、立ち停つて動かない、ははア奧村さん此處に用事があるのだなと思つてこちらも足をとめてまだ話は終らぬから五分間も續けたらうか、ふと先生後ろを向いて「おや、此處はあなたの新聞社では無かつたですね！」これには記者も參りました

女人婆羅門

（百七）

（舞臺上演・映畫化）　長田秀雄　西正世志畫

渾島の蔵（二）

長谷由貴造は、横濱で西山聖庵と別れてから間もなく、横濱警察署の刑事係に採用され、熱心に職務のために働いてゐた。

由貴造の擔任は、横濱在留のアメリカ人やイギリス人の動靜だつた。毎日朝早く署を出ると、波止場附近をブラ〳〵して、外人向きの漆細工の煙草入れの行商をしながら、外人とみては話しかけ、世間話などをして外人と接觸する機緣をつくり、いろんな情報を手にすることは、彼の最も得意とするところだつた。

けふも例の通り行商人の格好をして、佛蘭西波止場を歩いてゐると、四五間向ふに、男衆に荷物を持たせてゆく怪しげな二人連れの男女を認めた。

「おや」

第六感にピリッと應へた。

ツカ〳〵と進んで行くと、二人の男女は、棧橋から稻川丸に乗つてしまつた。

その後姿をぢつと眺めて、

「はてな？　あの女は慥に何處かで見たことがある。誰だらう？」

記憶の糸をたぐつて……。

（さうだ、あれは西山聖庵の女房お藤だ、お藤に相違ない。たしかにお藤だ。どうしてこゝら邊にゐるんだらう。先日西山聖庵から手紙が來て、八王子でヨジーム温泉を開き、大層繁昌してゐるとの事だつたが、お藤さんが、八王子を抜け出して小笠原島行の稻川丸に乗るなんて、なんと云つても不思議な話だ）

と、荷を置いて、稻川丸の姿をぢつとみつめた。

だぶ〳〵と音を立てゝゐる汐の上に巨艦を浮べて、稻川丸は黑い煙りを吐いてゐた。マストの邊には數十羽の鷗が飛びかひ、時々海面をかすめてはまた飛び上つた。

出帆には後半時間位しかなかつた。乗客はドン〳〵乗込んだ。

月二回の定期航路なので、船客は意外に多かつた。

（それに、お藤さんと一緒に乗つた男は、どうみたつて西山聖庵ぢやない。若し、聖庵が横濱へやつて來たら、義理があるから、僕を眞先に尋ねてくるのが本當だ――だから、お藤さんにしたつて、女房のことだから、亭主の恩人を尋ねて、一應の挨拶をしてゆくべきだが……まあそんな事は好いとして、一體あの男は誰だらう？　どうして小笠原島なんかに行くのだらう？　何にしても不思議な話だ）

長谷由貴造がいろ〳〵と思案してゐる時、定刻の時間がきて、棧橋がスル〳〵と上つた。稻川丸はボーと汽笛を擧げて、波止場を離れて行つた。

「なんとしても怪しい――よし、回漕問屋を調べてやれ」

由貴造はそこから程近い回漕問屋の入山館を訪れて、船客名簿を調べ始めた。

この入山館は、日本で二番目に開業した回漕問屋で、横濱では當時有名なものだつた。最初に――明治三年に開業したのは東京靈岸島の廻漕會社である。

さて、由貴造が船客名簿を調べると、「東京麹町紀尾井町三、酒造業、小笠原洋藏、（三十九歳）同人妻、ふぢ（三十七歳）」と記してあつた。

「うゝむ、矢張りさうだつたか、ふぢといふ本名まで記してある」

と、何か考へ込んで居たが、急に、

（ふぢ――さうだ。いま捜査網を張られてゐる婆羅門お藤ではないかしら……ことによるとさうだぞ……）

じつと腕を組んで、唇を結んだ長谷由貴造の顔は、異樣に緊張した。

遥か沖合を、稻川丸は、その怪しい二人の船客を載せたまゝ、無心に走つて行つた。